

こおりやま広域連携中枢都市圏

構成市町村データブック



2025 年 3 月

郡山市政策開発部政策統計課

目次

1 構成市町村要覧	1
(1) 郡山市	1
(2) 須賀川市	2
(3) 二本松市	3
(4) 田村市	4
(5) 本宮市	5
(6) 大玉村	6
(7) 鏡石町	7
(8) 天栄村	8
(9) 磐梯町	9
(10) 猪苗代町	10
(11) 石川町	11
(12) 玉川村	12
(13) 平田村	13
(14) 浅川町	14
(15) 古殿町	15
(16) 三春町	16
(17) 小野町	17
2 構成市町村統計データ	18
(1) 面積	19
(2) 世帯数	19
(3) 1世帯当たり人員	19
(4) 人口	19
(5) 人口密度(1㎢当たり)	19
(6) 年少人口(15歳未満)	20
(7) 生産年齢人口(15-64歳)	20
(8) 老年人口(65歳以上)	20
(9) 年少人口割合	20
(10) 生産年齢人口割合	20
(11) 老年人口割合	20
(12) 人口動態	21
(13) 合計特殊出生率(ベイズ推定値)	21
(14) 平均寿命	21
(15) 就業者(第1次産業、第2次産業、第3次産業)	22
(16) 事業所数(民間)	22
(17) 従業者数(民間)	22
(18) 農業経営体(個人)	23
(19) 森林面積	23
(20) 工業	24
(21) 商業	24
(22) 市町村民所得	25
(23) 普通会計の決算状況	26
(24) 地方債現在高割合	26
(25) 財政力指数	26
(26) 市町村道の現況	27
(27) 自動車保有台数	27
(28) 消防	28
(29) 交通事故	28
(30) 汚水処理人口普及率	28
(31) ごみ排出総量(1人1日当たり)	28
(32) 医療	29
(33) 介護保険料65歳以上基準額月額	29
(34) 国民年金の状況	29
(35) 国民健康保険の状況	30
(36) 保育所	30
(37) 児童館	30
(38) 幼稚園(公立・私立)	30
(39) 幼保連携型認定こども園(公立・私立)	30
(40) 小学校(公立・私立)	31
(41) 中学校(公立・私立)	31
(42) 義務教育学校(公立)	31
(43) 高等学校(公立・私立)	32
3 施設位置図	33
(1) 医療関連機関位置図	33
(2) 救急医療施設位置図	34
(3) 大学・研究開発等拠点施設位置図	35

1 構成市町村要覧

(1) 郡山市

市 章	所在地		所在地標高		
	郡山市朝日一丁目 23 番 7 号		海拔 245.00m		
	花	木	鳥		
	 ハナカツミ	 ヤマザクラ	 カッコウ		
概要					
(自然条件) 福島県の中央に位置し、面積は 757.20 ㎢と広域で、西は奥羽山脈と猪苗代湖に接し、東は阿武隈山系、北は安達太良山を望み、市街地東部を阿武隈川が南北に貫流している。年平均気温は約 12℃となっており、比較的穏やかな内陸性気候である。 (産業・経済) 東北有数の商品販売額、製造品出荷額を誇る商工業都市であると同時に、米については生産量、食味ともに全国トップクラスを誇り、「農業・商業・工業」がバランスよく発展している。高速交通体系に恵まれた立地を生かし、農・商・工さらには観光を加えた基幹産業の整備に努めている。 (観光・文化) 猪苗代湖の雄大な自然景観、多くの観光客が訪れる磐梯熱海温泉郷、張子の里高柴デコ屋敷、郡山布引風の高原など観光資源が豊富である。 また、平成 28 年 4 月には、近代郡山発展の礎となった安積開拓にまつわるストーリー「未来を拓いた『一本の水路』－大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代－」が県内初の日本遺産に認定された。 文化面では、音楽活動が特に盛んで、多くの演奏会が市内で開催されているほか、毎年、市内小・中学校、高校の音楽関係部活動が全国大会で輝かしい成果を収めるなど、音楽都市こおりやまを全国に発信している。 (伝統行事・伝統芸能) 如宝寺境内で行われる「七日堂まいり」、奈良時代の伝説を今に伝える「郡山うねめまつり」、山車みこしが街中を練り歩き活気あふれる「安積国造神社の秋まつり」、市指定重要無形民俗文化財である中田町「柳橋の歌舞伎」、三穂田町「富岡の唐傘行灯花火」等多数。 (特産品) 郡山産米「あさか舞」、ASAKAMAI887、うねめ牛、郡山の鯉、特選郡山梨、G I 保護制度登録阿久津曲がりねぎ、布引高原大根、御前人参をはじめとした郡山ブランド野菜、高柴デコ屋敷の張子・三春駒、奥州郡山いやしの福とんぼ、ブドウ蔓かご、地ウイスキー、味宿場郡山地酒探訪、蔵元焼酎吟粒、いも焼酎郡山太郎右エ門、郡山産ワイン「VindeOllage (ヴァンデオラージュ)」					
総合計画等の策定状況					
名 称	郡山市まちづくり基本指針				
策定年月日	平成 30 年 2 月 2 日				
計画期間	平成 30 年度から令和 7 年度まで				
都市計画区域面積					
県中都市計画区域	27,024ha(市街化区域 6,886.3ha、市街化調整区域 20,137.2ha)				
日最高気温、日最低気温(観測所名：郡山、統計期間：昭和 51 年 3 月～令和 6 年 12 月)					
日最高気温	36.6℃(令和 5 年 8 月 5 日)		日最低気温	-12.8℃(昭和 59 年 3 月 2 日)	
沿革					
大 13.9.1	市制施行(編入小原田村)	昭 40.5.1	合体	郡山市、安積町、三穂田村、逢瀬村、片平村、喜久田村、日和田町、富久山町、湖南村、熱海町、田村町	
昭 29.11.1	編入 富田村	昭 40.8.1	編入	西田村、中田村	
昭 30.1.1	境界変更 高瀬村の一部	昭 45.11.1	境界変更	須賀川市	
昭 30.3.31	編入 大槻町	平 9.4.1	中核市移行		
昭 30.11.1	境界変更	平 11.10.1	境界確定変更	猪苗代湖	
	三春町大字荒井、蒲倉、三穂田村の一部				
昭 30.11.15	編入 岩江村の一部				

出典：福島県市町村要覧 2024、各市町村 HP、気象庁 HP 等

(2) 須賀川市

市 章	所在地		所在地標高		
	須賀川市八幡町 135 番地		海拔 262.00m		
	花		木	鳥	
		ぼたん		あかまつ	
					
概要					
(自然条件) 福島県の中央よりやや南に位置し、東西に広がりのある形状をなしており、東は阿武隈山地、西は奥羽山系の山々が連なり、その間の中央部に平坦地が広がる地形となっている。気候は、総体的には一年を通じて比較的温和で関東地方に近い。					
(産業・経済) 農業は、米、野菜、果物が中心で、首都圏に隣接する優位性を活かし、都市近郊型農業が展開されている。特に「岩瀬きゅうり」ブランドで有名な夏秋きゅうりは、市を代表する特産品となっている。工業は、電気機械器具、窯業、プラスチック製品、鉄鋼業、生産用機械器具、食料品、金属製品、情報通信機械器具、電子部品・デバイス・電子回路などが中心で、製造出荷額等の約 78%を占める。					
(観光・文化) 国指定名勝「須賀川の牡丹園」、約 1 万発の花火が夜空を彩る「釈迦堂川花火大会」、430 余年前の戦国の世の悲運を偲ぶ伝統行事「松明あかし」、つつじ・しゃくなげ・しゃくやくなど約 1 万株の「大桑原つつじ園」、和 문화の振興と継承及び地域交流を推進する「風流のはじめ館」、「特撮の神様」と称される円谷英二監督の偉業を顕彰する「円谷英二ミュージアム」、特撮に関する資料の収集、保存、調査研究等により特撮文化を顕彰、推進する「須賀川特撮アーカイブセンター」、約 80mの落差のある「幻の大滝」など、数多くの個性的な観光資源を有する。また、「牡丹焚火」と「松明あかし」が俳句歳時記の季語に収載されている。					
(伝統行事・伝統芸能) 松明あかし（毎年 11 月の第 2 土曜日）、牡丹焚火（毎年 11 月の第 3 土曜日）、榊衝神社「太鼓獅子」（旧暦の閏年 10 月第 1 日曜日）、里守屋三匹獅子舞（毎年 7 月最後の土・日曜日）、梅田三匹獅子舞（毎年 7 月）、古館ドント焼き（毎年 8 月 16 日）、木之崎八雲神社御神輿渡御（旧暦の閏年 7 月第 2 土曜日）、仁井田田植え踊り（毎年 5 月 1 日）					
(特産品) 岩瀬きゅうり、米（「ぼたん姫」）、なし、りんご、もも、トマト、ナス、秋冬ニラ（甘ニラ）、いちご、ソバ、かっぱ麺、ユキヤナギ、西洋ウメモドキ					
総合計画等の策定状況					
名 称	須賀川市第 9 次総合計画「須賀川市まちづくりビジョン 2023」				
策定年月日	令和 4 年 12 月 22 日				
計画期間	令和 5 年度から令和 9 年度まで				
都市計画区域面積					
県中都市計画区域	7,800ha(市街化区域 1,506.6ha、市街化調整区域 6,293.4ha)				
日最高気温、日最低気温(観測所名： - 、統計期間： -)					
-					
沿革					
昭 29.3.31	合体（市制施行）須賀川町、浜田村、西袋村、稲田村、小塩江村				
昭 30.3.10	編入 仁井田村				
昭 42.2.1	編入 大東村				
平 17.4.1	編入 長沼町、岩瀬村				

出典：福島県市町村要覧 2024、各市町村 HP、気象庁 HP 等

(3) 二本松市

市 章	所在地				所在地標高		
	二本松市金色 403 番地 1				海拔 226.00m		
	花		木		鳥		
		きく		さくら		うぐいす	
概要							
(自然条件) 福島県の中央北部に位置し、西に「智恵子抄」で詠われた安達太良山を擁し、中央の平坦部を阿武隈川が北流、東部には阿武隈山系が連なる風光明媚な自然環境に恵まれ、中心部の平均気温は 12℃前後と比較的温暖で過ごしやすく、年間降水量も少ない。							
(産業・経済) 農業は、米を基幹作物として、野菜、畜産、果樹等を組み合わせた複合経営を行っている。商工業は、木工家具、菓子、酒造等の地場産業のほか、郊外型大型店舗の進出がある。また、産業集積の拠点として、長命工業団地を整備し、企業誘致を推進している。							
(観光・文化) 名峰「安達太良山」、阿武隈山系の信仰の山「日山」「羽山」をはじめ、天然記念物の「杉沢の大スギ」や「木幡の大スギ」、合戦場のしだれ桜、霞ヶ城公園、智恵子の生家、稚児舞台などの名勝、岳温泉、名目津温泉、にほんまつ城報館、安達ヶ原ふるさと村、阿武隈川漕艇場等がある。							
(伝統行事・伝統芸能) 約 370 年の歴史を持つ「二本松の提灯祭り（10 月第 1 土曜日から月曜日までの 3 日間）」、「二本松の菊人形（10 月 10 日～11 月 18 日）」、「万人子守地蔵尊例大祭（5 月 3 日～4 日）」、「小浜の紋付祭り（10 月 11 日～12 日）」、「針道のあばれ山車（10 月 12 日）」、「木幡の幡祭り（12 月 7 日）」							
(特産品) 乳用牛、肉用牛、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、つるむらさき、スプレー菊、なめこ、りんご、桑葉加工品、清酒、菓子、家具、仏壇・仏具、二本松万古焼、上川崎和紙、ワイン、シードル							
総合計画等の策定状況							
名 称	二本松市総合計画						
策定年月日	令和 2 年 12 月 15 日						
計画期間	令和 3 年度から令和 12 年度まで						
都市計画区域面積							
二本松本宮都市計画区域		10,976ha					
日最高気温、日最低気温(観測所名：二本松、統計期間：昭和 51 年 12 月～令和 6 年 12 月)							
日最高気温 38.0℃(令和 2 年 8 月 11 日)				日最低気温 -12.6℃(昭和 58 年 1 月 23 日)			
沿革							
昭 30.1.1 二本松町、塩沢村、岳下村、杉田村、石井村、大平村が合併により二本松町となる							
昭 30.1.1 油井村、渋川村、上川崎村が合併により安達村となる							
昭 30.1.1 小浜町、新殿村、旭村が合併により岩代町となる							
昭 30.1.1 太田村、針道村、木幡村、戸沢村が合併により東和村となる							
昭 33.10.1 二本松町が市制施行							
昭 35.2.1 安達村が町制施行							
昭 35.4.1 東和村が町制施行							
平 17.12.1 二本松市、安達町、岩代町、東和町が合併により二本松市となる							

出典：福島県市町村要覧 2024、各市町村 HP、気象庁 HP 等

(4) 田村市

市 章	所在地				所在地標高		
	田村市船引町船引字畑添 76 番地 2				海拔 408.00m		
	花		木		鳥		
		つつじ		なら		うぐいす	
概要							
(自然条件) 阿武隈高原中央に位置し、緑豊かな自然に恵まれた面積 458.33 平方キロメートルの地域を有する。本地域は阿武隈山系が南北に走り、大小の山々によって丘陵起伏が縦横に連続する地形となっている。これらの山岳を源に大滝根川や高瀬川など多くの河川が地域を流下している。気候は内陸山間型の気候である。 (産業・経済) 第一次産業は、水稻、畜産、葉たばこ、野菜等による経営が行われている。第二次産業は輸送用機械器具製造業、第三次産業は卸売業及び小売業の占める割合が高くなっている。 (観光・文化) 国内有数の鍾乳洞「あぶくま洞」「入水鍾乳洞」を始め、国の重要文化財や国指定、県指定の文化財が各地区に点在している。また「田村の美桜 88 景」をはじめとした豊かな自然環境のもと、そこに生息する昆虫に触れ合うことができる「ムシムシランド」などの施設が整備されている。 (伝統行事・伝統芸能) 灯籠流しと花火大会、あぶくま洞秋まつり、各地区夏祭り、各地区文化祭、だるま市、安倍文殊堂例大祭、各神社例大祭、各地区三匹獅子舞、お人形様衣替え等 (特産品) 田村市ブランド認証品「田村の極」：福うなぎ、ハム工房都路商品、エゴマ製品、あぶくまの天然水、みやこじスイーツゆい商品、黒米甘酒、石塚味噌店の味噌、たれ de 松本（焼肉のたれ）、菓子（たばこ煎餅、玉銅鑼、手焼きせんべい）、クラフトビール							
総合計画等の策定状況							
名 称	第 2 次田村市総合計画（前期基本計画）						
策定年月日	令和 4 年 6 月 24 日						
計画期間	令和 4 年度から令和 8 年度まで						
都市計画区域面積							
田村三春小野都市計画区域	10,178ha						
日最高気温、日最低気温(観測所名：船引、統計期間：昭和 51 年 12 月～令和 6 年 12 月)							
日最高気温	35.7℃(令和 2 年 8 月 11 日)			日最低気温	-17.4℃(昭和 52 年 1 月 1 日)		
沿革							
明 22.4.1	岩井沢村・古道村が合併により都路村となる。						
昭 30.2.1	常葉町・山根村が合併により常葉町となる。						
昭 30.4.1	船引町・芦沢村・美山村・移村・瀬川村・文珠村・七郷村が合併により船引町となる。						
昭 32.3.31	境界変更三春町の一部が船引町となる。						
平 17.3.1	滝根町、大越町、都路村、常葉町、船引町が合併により新市となる。						

出典：福島県市町村要覧 2024、各市町村 HP、気象庁 HP 等

(5) 本宮市

市 章	所在地		所在地標高		
	本宮市本宮字万世 212 番地		海拔 214.10m		
	花	木	鳥		
	 ぼたん	 まゆみ	 うぐいす		
概要					
（自然条件） 本宮市は、福島県の中央部に位置し、市のほぼ中央部には東北地方を代表する名川・阿武隈川が北流し、東部には阿武隈山系の岩角山、高松山、嶽山などの山並みや丘陵地・農地が広がり、西部には安達太良山から連なる大名倉山を中心とした山並みを有し、水と緑の豊かな自然に恵まれている。総面積は 88.02 平方キロメートルである。					
（産業・経済） 阿武隈川流域の肥沃な土地条件や高速交通網が結節する交通の要衝としての優れた立地条件等を最大限に活用し、農業・商業・工業の振興を柱に、農産物の地産地消や企業誘致による雇用の場の創出等活力ある産業のまちづくりを推進している。					
（観光・文化） 国の登録文化財「蛇の鼻御殿」がある「花と歴史の郷蛇の鼻」をはじめ、「岩角山」や「高松山」を中心とした観光コースは人気が高く、市内外を問わず多くの人々が訪れる。また、市内には、みずいろ公園やプリンス・ウィリアムズ・パーク、英国庭園、白沢ふれあい文化ホールがあり、多くの人たちでにぎわっている。					
（伝統行事・伝統芸能） 本宮市夏まつり（7 月中旬）、もとみや秋祭り（10 月第 4 土曜日を含む金、土、日の 3 日間）、しらさわ秋祭り（11 月第 2 日曜日）、岩角山大梵天祭（1 月 3 日）、ハッ田内七福神舞（1 月 7 日）、高松山観音寺初寅祭（旧暦の初寅の日の夜）、荒井の太々神楽（大晦日から元旦暁）					
（特産品） 米、チェリートマト、キュウリ、本宮烏骨鶏、とろろ芋、大核無柿（おおたねなしがき）、りんご、しいたけ、ビール、手作り糀みそ、本格長芋焼酎「さわうらら」、しらさわ宝漬、ぎんなん、清酒、アスパラガス					
総合計画等の策定状況					
名 称	本宮市第 2 次総合計画				
策定年月日	平成 30 年 12 月 12 日				
計画期間	平成 31 年度～令和 10 年度まで				
都市計画区域面積					
二本松本宮都市計画区域	6,430ha				
日最高気温、日最低気温(観測所名：－、統計期間：－)					
－			－		
沿革					
明 22.4 本宮村が本宮町となる。 岩根村と関下村が合併により岩根村となる。 昭 29.3.31 本宮町、荒井村、青田村、仁井田村が合併により本宮町となる。 昭 30.4 白岩村と和木沢村（高木は本宮町へ合併）が合併により白沢村となる。 昭 31.4.30 岩根村が本宮町に編入となる。 平 19.1.1 本宮町、白沢村が合併により新市となる。					

出典：福島県市町村要覧 2024、各市町村 HP、気象庁 HP 等

(6) 大玉村

村 章	所在地				所在地標高		 いぐねのある風景
	安達郡大玉村玉井字星内 70 番地				海拔 約 250m		
	花		木		鳥		
		桜		松		きじ	
概要							
(自然条件) 本村は、福島県中通り地方のほぼ中央にあり、郡山市、二本松市、本宮市と接し、県内主要都市である福島市と郡山市のほぼ中間に位置する。年間平均気温 12℃、年間降雨量 1,100mm と自然条件に恵まれている。 (産業・経済) 本村は農業が主体であり、約 1,300ha の水田が整備され、基幹作物の米を中心に、畜産、そ菜等との複合経営を行っている。また、公害のない、生きがいのある職場となるような企業の誘致を図り、農工一体の活力ある村づくりをめざしている。 (観光・文化) 安達太良山麓に県民の森があり、多くの観光客が訪れ県民いこいの場となっている。県民の森に接して公設民営の温泉保養施設「アットホームおおたま」がある。また、貴重な遺産を保存展示するふるさとホールがある。 (伝統行事・伝統芸能) 遠藤ヶ滝不動尊祭礼が毎年 5 月 4 日から 6 日、9 月中旬の 2 回行われている。また、本揃の田植踊、神原田神社十二神楽の伝統芸能がある。 (特産品) 米、酵母牛、そば、日本酒、焼酎、きゅうり、りんご							
総合計画等の策定状況							
名 称	第五次大玉村総合振興計画						
策定年月日	令和 3 年 4 月 1 日						
計画期間	令和 3 年度から令和 12 年度まで						
都市計画区域面積							
二本松本宮都市計画区域	4,422ha						
日最高気温、日最低気温(観測所名： ー、統計期間： ー)							
ー				ー			
沿革							
昭 30.3.31 合併 大山村 玉井村							

出典：福島県市町村要覧 2024、各市町村 HP、気象庁 HP 等

(7) 鏡石町

町 章	所在地		所在地標高		
	岩瀬郡鏡石町不時沼 345 番地		海拔 270.00m		
	花	木	鳥		
	 あやめ	 しだれ桜	—		
概要					
（自然条件） 福島県の中通り南部に位置し、西に釈迦堂川、東に阿武隈川が流れ、標高 280m 台の平坦な台地にある。年間平均気温は 12℃ 前後で比較的温暖であり、降水量は年間約 1,170mm で寡降水量地域に属する。 （産業・経済） 農業は、米を中心に果樹やそ菜等の複合経営であり、農業所得は県下の上位にある。工業は町内 5 箇所の工業団地を中心に、国道 4 号線、ＪＲ東北本線、東北自動車道鏡石スマートインターチェンジ等の高い交通環境の中で定着化が進み、農商工一体の町づくりを進めている。 （観光・文化） 唱歌「牧場の朝」のモデルとなった岩瀬牧場、桜や町花”あやめ”が美しく、ふくしま国体サッカー競技の会場にもなった鳥見山公園のほか、2012 年から農業と観光が連携して展開している「かがみいし田んぼアート」、町の特産品販売コーナーと交流スペースを備えた鏡石まちの駅「かんかんてらす」などがある。また、鎌倉の故事を今に伝える史跡「鏡沼」、福島県重要文化財の西光寺の「杉戸絵」等多くの文化財がある。 （伝統行事・伝統芸能） 200 年の歴史をもつ「仁井田祭礼花火大会」や昭和 51 年に復活した「熊野神社太々神楽」が行われている。岩瀬牧場で交流の深いオランダにちなみ、鏡石「牧場の朝」オランダ・秋祭りが毎年開催されている。 （特産品） 特別栽培米「牧場のしずく」、特別純米酒「鏡の雫」、全国的にも有名な「岩瀬きゅうり」、リンゴやモモを代表とした果物も豊富で、近年では「いちご」が評判を呼んでいる。					
総合計画等の策定状況					
名 称	鏡石町第 6 次総合計画（前期）				
策定年月日	令和 4 年 4 月 1 日				
計画期間	令和 4 年度から令和 8 年度まで				
都市計画区域面積					
県中都市計画区域	2,300ha(市街化区域 355.6ha、市街化調整区域 1,944.4ha)				
日最高気温、日最低気温(観測所名： — 、統計期間： —)					
—			—		
沿革					
昭 37.8.1 町制施行					

出典：福島県市町村要覧 2024、各市町村 HP、気象庁 HP 等

(8) 天栄村

村 章	所在地		所在地標高		
	岩瀬郡天栄村大字下松本字原畑 78 番地		海拔 303.00m		
	花	木	鳥		
	 りんどう	 松 えんじゅ	 うぐいす	羽鳥湖	
概要					
(自然条件) 四季折々にさまざまな彩りを見せる天栄村の自然。村のほぼ中央部にある分水嶺を境に、村の気候は東西に大きく二分される。西部は、日本海側気候で冬期間は積雪が多く、那須山脈に囲まれた地域である。一方、東部は、太平洋側気候で降雪が少なく、釈迦堂川、竜田川沿いに耕地が拓けている。 (産業・経済) 農業は、水稻を中心に蔬菜や畜産の複合型農業である。特に夏秋きゅうりで実績を上げている。工業は、現在 16 社（飯豊農工団地 3 社、ハイテク大山工業団地 11 社、その他 2 社）が操業しており、雇用と地域産業の振興に寄与している。 (観光・文化) 羽鳥湖高原は、サイクリングロード、ゴルフ場、キャンプ場、英語研修施設などのレジャー施設が並び観光地である。また、環境省から国民保養温泉地に指定された二岐・岩瀬湯本・天栄温泉や、各種ペンション村など宿泊施設も充実している。 (伝統行事・伝統芸能) 5 月下旬～6 月上旬 二岐山開き 7 月第 3 日曜日 湯本満願寺の馬頭観世音祭 (特産品) 天栄ヤーコン、天栄長ネギ、天栄米、岩瀬きゅうり、りんご、しいたけ、味噌、しょう油、日本酒（廣戸川・寿々乃井）、ミニトマト、りんごジュース					
総合計画等の策定状況					
名 称	第 5 次天栄村総合計画				
策定年月日	平成 29 年 3 月 7 日				
計画期間	平成 29 年度から令和 8 年度まで				
都市計画区域面積					
—		—			
日最高気温、日最低気温(観測所名：湯本、統計期間：昭和 63 年 10 月～令和 6 年 12 月)					
日最高気温 34.4℃(平成 6 年 8 月 8 日)		日最低気温 -18.7℃(平成 18 年 1 月 10 日)			
沿革					
昭 30.3.31 合体 湯本村、牧本村、大里村、広戸村					

出典：福島県市町村要覧 2024、各市町村 HP、気象庁 HP 等

(9) 磐梯町

町 章	所在地		所在地標高		
	耶麻郡磐梯町大字磐梯字中ノ橋 1855		海拔 378.00m		
	花	木	鳥		
				おおるり	
	りんどう	こぶし			
概要					
(自然条件) 本町は、福島県会津盆地の東北部に位置し、北に霊峰磐梯山をはじめ猫魔岳などの山並みが連なり、山間部の起伏の多い丘陵地帯である。町中央部を大谷川、南は日橋川が東西に流れ、これらの河川に沿って耕地が開け、平均標高は 380mの町である。 (産業・経済) 町全体の 70%が山林、原野で、耕地は少ないが、圃場整備は計画分をすべて完了、複合農業経営に力を入れ、菌茸、果樹、高原野菜、花卉等の産地化を推進中である。町の豊かな湧水を利用する企業が進出している。 (観光・文化) 会津フレッシュリゾート構想の中核をなすネコマ マウンテン 南エリア、苔むした礎石が人々の心をさそう国史跡慧日寺跡、慧日寺金堂、磐梯山慧日寺資料館、樹木の間を流れる名水百選の磐梯西山麓湧水群、樹齢 800 年の磐梯神社種まき桜。 (伝統行事・伝統芸能) 御国祭として数百年の歴史を数える舟曳き祭（豊作祈願祭礼）巫女舞（春分の日）、彼岸獅子（3月彼岸入り） (特産品) 会津米、しいたけ、磐梯そば、磐梯はちみつ、磐梯の花カラー、ほうれん草など					
総合計画等の策定状況					
名 称	磐梯町総合計画				
策定年月日	令和2年3月13日				
計画期間	令和2年度から令和8年度まで				
都市計画区域面積					
猪苗代都市計画区域	2,800ha				
日最高気温、日最低気温(観測所名： ー、統計期間： ー)					
ー			ー		
沿革					
昭 35.4.1 町制施行					

出典：福島県市町村要覧 2024、各市町村 HP、気象庁 HP 等

(10) 猪苗代町

町 章	所在地		所在地標高		 観音寺川の桜
	耶麻郡猪苗代町字城南 100 番地		海拔 521.60m		
	花	木	鳥		
	 サギソウ	 ナナカマド	 ハクチョウ		
概要					
(自然条件) 本町は、福島県のほぼ中央に位置する猪苗代湖の北岸に面し、東西北の三方を秀峰会津磐梯山をはじめとする山々に囲まれ、山と湖の織りなす雄大で美しい自然に包まれている。気候は日本海式気候で、内陸型の積雪寒冷地帯に属している。 (産業・経済) 米の生産調整対策に伴う転作作物としてのそばを地域の特産物とし、農業の振興に努めている。また中心市街地活性化のため、魅力ある商店街づくりを推進している。 (観光・文化) 磐梯山や猪苗代湖、世界に知られる医学者野口英世博士の生家などが保存・展示されている野口英世記念館など、名所・旧跡を多数有し、四季を通じてさまざまな魅力を堪能できる県内有数のオールシーズン型の観光リゾート地である。 (伝統行事・伝統芸能) 初市（十三日市 1 月 13 日）、小平瀧天満宮初天神（1 月 25 日）、磐梯山開き（5 月下旬）、磐梯まつり（7 月下旬） (特産品) そば、ブランド米「いなわしろ天のつぶ」、磐梯トマト、アスパラ、あげまんじゅう、天ぷらまんじゅう、笹だんご、日本酒、地ビール、しょうが加工品、中ノ沢こけし					
総合計画等の策定状況					
名 称	第七次猪苗代町振興計画				
策定年月日	平成 29 年 4 月 1 日				
計画期間	平成 29 年度から令和 8 年度まで				
都市計画区域面積					
猪苗代都市計画区域	11,081ha				
日最高気温、日最低気温(観測所名：猪苗代、統計期間：昭和 51 年～令和 6 年 12 月)					
日最高気温	34.2℃(平成 5 年 8 月 15 日)		日最低気温	-17.5℃(昭和 63 年 2 月 22 日)	
沿革					
昭 30.3.1	合体	猪苗代町	千里村	吾妻村	月輪村 翁島村
昭 30.7.20	編入	長瀬村			

出典：福島県市町村要覧 2024、各市町村 HP、気象庁 HP 等

(11) 石川町

町章	所在地		所在地標高		
	石川郡石川町字長久保 185 番地の 4		海拔 320.00m		
	花	木	鳥		
	 桜	 杉	 うぐいす		
概要					
(自然条件) 福島県中通り地方の南部、阿武隈高地の西側に位置し、阿武隈川流域の平坦地と阿武隈高地に連なる山間地から形成され、中央を流れる北須川と今出川に沿って開けている。気候は比較的温暖で、冬の降雪量も少ない。 (産業・経済) 農業は米を中心に畜産、野菜、果樹など複合経営が主体となっている。また、首都圏との近接性や利便性の高い交通網、強固な地盤を活かした企業誘致と既存企業の育成を図っている。近年は第3次産業の就業者数割合が高まっているが、調和のとれた産業構造を目指している。 (観光・文化) 温泉資源に恵まれ、東北屈指のラジウム温泉として名高い母畑温泉のほか、猫啼温泉、片倉温泉、塩ノ沢温泉と大小4つの温泉地がある。春には「いしかわ桜谷」と称される桜並木が見応え十分に咲き誇り、冬には母畑レークサイドセンターでアイススケートが楽しめる。また、自由民権史跡や狛犬、和泉式部伝説、ペグマタイト鉱物などはロマンにあふれ、訪れるファンを魅了する。 (伝統行事・伝統芸能) 石都々古和気神社祭礼（9月第三土・日曜）、中田のささら舞（9月中旬）。八槻市（11月23日） (特産品) リンゴ、梨、もも、こんにゃく、シイタケ、いしかわうどん、納豆、りんごジュース、いしかわ牛					
総合計画等の策定状況					
名 称	石川町第6次総合計画				
策定年月日	平成31年2月1日				
計画期間	平成31年度から令和10年度まで				
都市計画区域面積					
石川都市計画区域	7,814ha				
日最高気温、日最低気温(観測所名：石川、統計期間：昭和51年11月～令和6年12月)					
日最高気温	37.8℃(令和6年7月7日)		日最低気温	-14.9℃(昭和59年3月1日)	
沿革					
昭30.3.31	合体	石川町、沢田村、中谷村、母畑村、野木沢村、山橋村			

出典：福島県市町村要覧2024、各市町村HP、気象庁HP等

(12) 玉川村

村 章	所在地				所在地標高		 乙字ヶ滝
	石川郡玉川村大字小高字中囃 9 番地				海拔 262.00m		
	花		木		鳥		
		山桜		赤杉		山鳩	
概要							
(自然条件) 福島県の南部に位置し、阿武隈山地の西斜面の丘陵地と阿武隈川東岸に開けた平坦地に大別され、温暖な気候と豊かな自然に恵まれた住みよい村である。福島空港の所在地である当村は、交通の利便性に優れた地域として発展しつつある。 (産業・経済) 農業は、米、野菜を中心に畜産等の複合経営が行われている。特産品のさるなし、トマトなどとともに、生産物直売所「こぶしの里」等で販売活動をしている。また、玉川工業団地への立地企業をはじめとする村内企業は、空港や道路環境の整備による交通の利便性を生かし、雇用面からも地域活性化が図られている。さらに、あぶくま高原道路などの高速交通ネットワークが整備され、ますますの発展が期待される。加えて、令和2年3月に閉校した旧須釜中学校を活用した「すがまプラザ交流センター」を複合型拠点施設として、オフィススペースやコワーキングスペース等を備え「新たな人の流れ」の創出を行っている。 (観光・文化) 松尾芭蕉の「奥の細道」ゆかりの地、乙字ヶ滝は「五月雨の滝降りうつむ水かさ哉」の句碑と共に桜の名所でも知られており、令和6年9月には交流人口・関係人口の拡大に向けた交流拠点として、複合型水辺施設「乙な駅たまかわ」がオープンしました。また、福島空港公園を訪れる家族連れや観光客も年々多くなってきており、地元特産品を目当てに訪れる方も増加している。また、村では観光交流施設「森の駅 yodge (ヨッジ)」を中心とした体験型の観光や「日本一自転車が好きな村」を目指しサイクルビレッジたまかわ事業等を通じスポーツに親しめる村づくりを推進している。 文化面では、国重要文化財指定の「石造五輪塔」、「東福寺舍利石塔」や県重要文化財指定の「宮ノ前古墳」など文化財も豊富で、古墳や遺跡も数多い。 (伝統行事・伝統芸能) 県無形重要文化財指定・福島遺産百選認定の「南須釜念仏踊り」は、毎年4月3日と8月14日に華やかな衣装を身につけた少女たちによって踊られる。また、8月13日に「玉川夏まつり・花火大会」が開催される。 (特産品) 米、トマト、きゅうり、いんげん、さやえんどう、なす、大豆、さるなし、いちじく、ぎんなん、ブルーベリー、小菊、リンドウ							
総合計画等の策定状況							
名 称	第6次玉川村振興計画						
策定年月日	平成 28 年 3 月 15 日						
計画期間	平成 28 年度から令和 7 年度まで						
都市計画区域面積							
石川都市計画区域	3,250ha						
日最高気温、日最低気温(観測所名：玉川、統計期間：平成 15 年 1 月～令和 6 年 12 月)							
日最高気温	35.5℃(平成 26 年 8 月 6 日)			日最低気温	-10.2℃(平成 30 年 1 月 31 日)		
沿革							
昭 30.3.31	合体	泉村、須釜村					

出典：福島県市町村要覧 2024、各市町村 HP、気象庁 HP 等

(13) 平田村

村 章	所在地		所在地標高		
	石川郡平田村大字永田字切田 116 番地		海拔 490.40m		
	花	木	鳥		
	 たんぼぼ	 あかまつ	 やまばと		
概要					
(自然条件) 本村は福島県南東部、阿武隈山系にあり、美しい自然豊かな地域。標高が平均 500mと高いため桜の開花が少し遅い。夏は高原特有の涼しさが心地よい。蓬田岳山麓の「ジュピアランドひらた」には約 25 万株の芝桜が植栽されており、4 月から 5 月の開花時期には多くの観光客で賑わう。 (産業・経済) 本村は、農業を基幹産業とし畜産業が盛んである。中山間地域の特性を生かし、稲作、野菜、花卉など多くの農産物が生産されている。工業では、あぶくま高原道路の全線開通による高速交通網の整備が図られ、積極的に企業誘致を進めている。 (観光・文化) 石川郡内の最高峰標高 952.2mの蓬田岳山頂には菅布祢神社が祀られ、登山者も多い。山麓には自然を活用した「ジュピアランドひらた」があり、5 月には「芝桜まつり」が行われる。6 月下旬から世界のあじさい園、ゆり園もオープンする。ゆりは 35 種 35,000 本、あじさいは 825 種 27000 本植栽されており、世界一に認定された。また、国道 49 号沿いにある道の駅ひらたでは、地域の特産品が販売されている。母畑湖畔に近い山鶏滝にも観光客が絶え間なく訪れている。 (伝統行事・伝統芸能) 「駒形じゃんがら念仏踊り」(村指定無形文化財) 8 月 13 日、14 日に駒形地区で行われる。揃いの浴衣姿にたすき掛けをした若者たちが鉦や太鼓をたたきながら踊り、新盆の家をまわる伝統芸能。 「酉小屋燃やし」正月に行われる地域行事。 (特産品) 自然薯、地酒、アスパラガス、黒毛和牛、いんげん					
総合計画等の策定状況					
名 称	第 5 次平田村総合計画				
策定年月日	平成 28 年 3 月 16 日				
計画期間	平成 28 年度から令和 7 年度まで				
都市計画区域面積					
石川都市計画区域	4,468ha				
日最高気温、日最低気温(観測所名： - 、統計期間： -)					
-			-		
沿革					
昭 30.3.31 合併 蓬田村・小平村					

出典：福島県市町村要覧 2024、各市町村 HP、気象庁 HP 等

(14) 浅川町

町 章	所在地		所在地標高		
	石川郡浅川町大字浅川字背戸谷地 112 番地の 15		海拔 306.50m		
	花	木	鳥		
	 サギソウ	 あかまつ	 オナガ		
概要					
(自然条件) 福島県中を通り南部に位置し、東部に阿武隈山麓に連なる丘陵が南北に続く。町を西北に縦断するように阿武隈川の支流が走り、西部はおおむね平坦で農地が集団化されている。気象条件は比較的恵まれているものの、冬季の寒さは厳しく春先の晩霜が農作物に与える影響は大きい。 (産業・経済) 近年、第1次産業就業者は基幹作物の米を中心に畜産、野菜等の複合経営を行っている。第2次産業は精密機器、弱電気、信号機械が中心となっている。第2次、第3次産業への就業人口が増加し、地場産業の発掘、既存企業の育成、定住促進住宅の購入費等、町民はもとより他の地域からの移住者の生活の安定を図る。 (観光・文化) 病理学者吉田富三博士を顕彰する「吉田富三記念館」、ついじの森にたどむ石仏「五智如来」、「即身弘智法印有貞」、遠く那須連峰を一望でき、夜景が素晴らしい城山がある。 (伝統行事・伝統芸能) 300 有余年の歴史と伝統のある「浅川の花火」(毎年8月16日)、慶応以前から始められたと言われる「カラスもち」(毎年4月3日)、無病息災と豊作を祈願する「風袋(カザブクロ)」(毎年二百十日の前日)がある。近年、除夜の花火や夜桜花火、豊秋花火打上で「花火の里」のイメージアップを図っている。 (特産品) 米、肉用牛、野菜、乾麺、地酒、鶏卵、魔除花火など					
総合計画等の策定状況					
名 称	浅川町第5次振興計画 あさかわスマイルプラン				
策定年月日	平成 28 年 3 月 14 日				
計画期間	平成 28 年度から令和 7 年度まで				
都市計画区域面積					
石川都市計画区域	2,650ha				
日最高気温、日最低気温(観測所名： — 、統計期間： —)					
—			—		
沿革					
昭 10.8.1 町制施行					
昭 29.10.1 合併 浅川町、山白石村					
昭 30.8.20 境界変更 東村大字太田輪・小貫					

出典：福島県市町村要覧 2024、各市町村 HP、気象庁 HP 等

(15) 古殿町

町 章	所在地		所在地標高		
	石川郡古殿町大字松川字新桑原 31 番地		海拔 301.00m		
	花	木	鳥		
	 ヤマユリ	 スギ	 キジ		
概要					
(自然条件) 福島県の南、石川郡の南東、阿武隈山系の西斜面に位置している。標高は 300～500m で起伏の多い丘陵が波状的に連なり、地質は花崗岩を母体として形成され、中生層及び古生層の竹貫式結晶片岩からなる。山地は杉の適地である。 (産業・経済) 第一次産業における農業は米、山菜栽培、畜産が中心である。林業も盛んであり間伐、林道事業等を積極的に推進している。 (観光・文化) 三株山、芝山はキャンプ場も整備され、多くのハイカーでにぎわう。春は越代のサクラやふるどの桜街道の花見、鎌倉岳遊歩道の散策、秋の八幡神社祭礼の「流鏝馬」、また県重要文化財の西光寺阿弥陀堂、木造地藏菩薩座像などがある。 (伝統行事・伝統芸能) 800 年余の伝統をもち、荘厳にして勇壮な鎌倉絵巻「流鏝馬（毎年 10 月第 2 日曜日とその前日）」、「馬場平のジャンガラ念仏（7 月、8 月 13～14 日、8 月 23 日）」、松川八ヶ久保地区及び論田地区の「獅子舞（毎年 10 月第 1 日曜日）」などがある。 (特産品) チェリートマト、山菜					
総合計画等の策定状況					
名 称	古殿町第 7 次振興計画				
策定年月日	令和 2 年 3 月 30 日				
計画期間	令和 2 年度から令和 11 年度まで				
都市計画区域面積					
—	—				
日最高気温、日最低気温(観測所名：古殿、統計期間：平成 23 年 9 月～令和 3 年 12 月)					
日最高気温	35.8℃(令和 2 年 8 月 11 日)		日最低気温	-13.6℃(平成 30 年 1 月 31 日)	
沿革					
昭 30.3.31	合体	竹貫村、宮本村			
昭 32.4.1	町制施行				
平 6.4.11	郡界変更	東白川郡から石川郡			

出典：福島県市町村要覧 2024、各市町村 HP、気象庁 HP 等

(16) 三春町

町 章	所在地				所在地標高		
	田村郡三春町字大町 1 番地の 2				海拔 314.30m		
	花		木		鳥		
		松波		しだれ桜		うぐいす	
概要							
(自然条件) 県のほぼ中央部、阿武隈山系の西裾に位置し、郡山市の北東に隣接している。町のほとんどが標高300～500mの丘陵地で、ゆるやかな山並みが続いている。気候は内陸性で、冬の降雪は少なく、夏もあまり暑くないため、過ごしやすい。 (産業・経済) 田村西部工業団地が磐越自動車道船引三春 IC に隣接しており、交通アクセスに優れた生産基地を提供。市街地においては、商業基盤等の充実や蔵・空き店舗を活用した賑わい創出等魅力的な商店街の形成が図られている。また、豊かな田園生活を追求した新たな農業への取り組みが行われている。 (観光・文化) 推定樹齢千年以上と言われる国指定天然記念物三春滝ザクラ、歴史民俗資料館、三春郷土人形館、町のシンボルである三春城跡、旧城下町のたたずまいや神社仏閣、自由民権運動の発祥の地として歴史や観光資源が多い。また、三春ダムやその周辺の施設なども年間を通して訪れる人も多い。 (伝統行事・伝統芸能) 元日に行われる西方水かけ祭り、1月第3日曜日の三春だるま市、各神社の祭礼に奉納される長獅子舞・三匹獅子舞・太々神楽、8月15・16日に行われる三春盆踊りなどが今に伝えられる。また、これらの保存会の活動も盛んである。 (特産品) 三春駒、三春人形（張子）、三角油あげ、米、しいたけ、ピーマン、三春索麺、地酒、ブルーベリー							
総合計画等の策定状況							
名 称	第8次三春町長期計画						
策定年月日	令和7年12月26日						
計画期間	令和7年度から令和16年度まで						
都市計画区域面積							
田村三春小野都市計画区域	4,664ha						
日最高気温、日最低気温(観測所名： ー、統計期間： ー)							
ー				ー			
沿革							
昭30.4.1 合体 三春町、中郷村、沢石村、要田村、御木沢村、中妻村							
昭30.11.1 境界変更 郡山市大字荒井 蒲倉							
昭30.11.15 編入 岩江村の一部							
昭31.10.10 境界変更 郡山市大字下舞木の一部							
昭32.3.31 境界変更 船引町の一部							
昭35.4.1 境界変更 郡山市大字上舞木及び下舞木の一部							
昭38.9.1 境界変更 船引町の一部							

出典：福島県市町村要覧 2024、各市町村 HP、気象庁 HP 等

(17) 小野町

町 章	所在地		所在地標高		
	田村郡小野町大字小野新町字舘廻 92 番地		海拔 432.00m		
	花	木	鳥		
	 つつじ	 杉	 かっこう		
概要					
(自然条件) 阿武隈山系の中部に位置し、3市1村と境を接する。地形は、周囲を矢大臣山、日影山等の小高い山に囲まれた丘陵地帯で、町中央を右支夏井川が流れている。標高は町の中心部で 432m、気温は平均 10℃前後と低く冷涼、降雨量は少ない。 (産業・経済) 地域の特性や伝統を生かしながら、農業・林業・工業・観光の連携・発展を推進するとともに、新たな産業が育ちやすい環境を整備し、活気と活力のある自立性の高い、個性豊かで快適な魅力ある町づくりを進める。 (観光・文化) 県立自然公園の東堂山は町のシンボルの一つで、中腹には、大同2年（807 年）に開山したと伝えられている満福寺があり、境内奥には 500 体を超える羅漢さまが老杉に囲まれ静かに佇んでいる。 また、春には県立公園高柴山の 3 万本のツツジや夏井川の 1,000 本の桜が一斉に咲き誇り、山や川が緑を背景に遅い春を謳歌している。 (伝統行事・伝統芸能) 東堂山例大祭（5月3日）、たかむら踊り（8月）、じゃんがら念仏踊り（7月～8月）、菅布彌神社祭礼（9月）、塩釜神社祭礼（9月下旬） (特産品) 黒にんにく、しいたけ、長いも、おのっこ一笑漬（漬物）、小町めん、くんせいたまご、御影石					
総合計画等の策定状況					
名 称	小野町総合計画				
策定年月日	令和 5 年 3 月 30 日				
計画期間	令和 5 年度から令和 9 年度まで				
都市計画区域面積					
田村三春小野都市計画区域	7,023ha				
日最高気温、日最低気温(観測所名：小野新町、統計期間：昭和 51 年 12 月～令和 6 年 12 月)					
日最高気温 36.0℃ (平成 27 年 8 月 5 日、令和 2 年 8 月 11 日)			日最低気温 -18.8℃(昭和 51 年 12 月 30 日)		
沿革					
昭 30.2.1 合併 小野新町、飯豊村、夏井村					

出典：福島県市町村要覧 2024、各市町村 HP、気象庁 HP 等

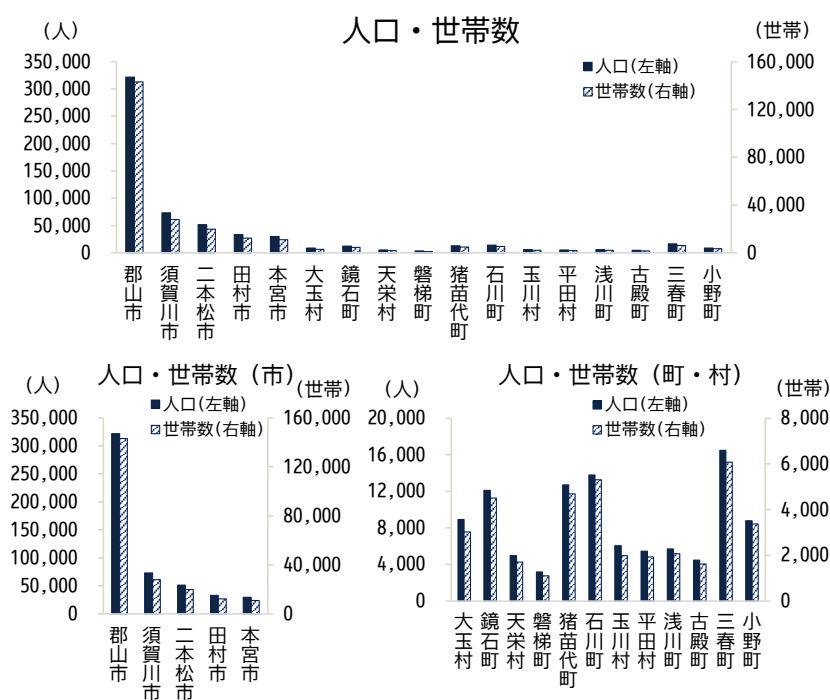
構成市町村統計データ資料出所

項目番号	資料出所
(1)	国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」
(2)～(11)	福島県統計課「福島県の推計人口」、総務省統計局「国勢調査報告」
(12)	福島県統計課「福島県の推計人口」、厚生労働省「人口動態統計」
(13)	厚生労働省「人口動態調査保健所・市区町村別統計」
(14)	厚生労働省「市区町村別生命表」
(15)	総務省統計局「国勢調査報告」
(16)～(17)	総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査結果」
(18)	農林水産省統計部「農林業センサス報告書」
(19)	福島県森林計画課「福島県森林・林業統計書」
(20)	福島県統計課「経済センサスー活動調査」
(21)	総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査結果」
(22)	福島県統計課「福島県市町村民経済計算報告書」
(23)～(25)	福島県市町村財政課「市町村財政年報」
(26)	福島県道路管理課
(27)	東北運輸局「福島県市町村別保有車両数」
(28)	福島県消防保安課「消防防災年報」
(29)	福島県生活交通課「交通白書」
(30)	国土交通省・農林水産省・環境省「全国市町村別 汚水処理人口普及率一覧」
(31)	福島県一般廃棄物課
(32)	厚生労働省「医療施設調査」、「医師・歯科医師・薬剤師統計」
(33)	厚生労働省「第8期計画期間における介護保険料の第1号保険料について」
(34)	厚生労働省「(年金・日本年金機構関係)事業月報」
(35)	福島県国民健康保険課「国民健康保険事業状況」
(36)～(37)	厚生労働省「社会福祉施設等調査」
(38)～(43)	福島県統計課「学校基本調査報告書」

※福島県企画調整部統計課編「令和5年版 福島県勢要覧」を再編・加工

市 町 村 名	(1)	(2)世帯数	(3)	(4)人口			(5)
	面積	令和 5 年	1世帯 当たり 人員	令和 5 年			人口密度 (1 km ² 当たり)
		総数		総数	男	女	
	km ²	世帯	人	人	人	人	人
調 査 期 日	令5.10.1	令5.10.1	令5.10.1	令5.10.1			令5.10.1
県 計	13,784.39	749,918	2.4	1,766,912	872,554	894,358	128.2
圏 域 計	3,372.74	251,358	2.4	611,517	302,105	309,412	181.3
郡 山 市	757.20	143,043	2.2	321,674	158,825	162,849	424.8
須 賀 川 市	279.43	27,887	2.6	73,103	35,882	37,221	261.6
二 本 松 市	344.42	19,755	2.6	51,320	25,339	25,981	149.0
田 村 市	458.33	12,296	2.7	33,069	16,332	16,737	72.2
本 宮 市	88.02	11,049	2.7	29,930	14,884	15,046	340.0
大 玉 村	79.44	3,023	2.9	8,893	4,394	4,499	111.9
鏡 石 町	31.30	4,499	2.7	12,088	5,933	6,155	386.2
天 栄 村	225.52	1,697	2.9	4,935	2,462	2,473	21.9
磐 梯 町	* 59.77	1,091	2.9	3,153	1,543	1,610	52.8
猪 苗 代 町	* 394.85	4,679	2.7	12,709	6,172	6,537	32.2
石 川 町	115.71	5,306	2.6	13,783	7,007	6,776	119.1
玉 川 村	46.67	1,985	3.0	6,029	3,008	3,021	129.2
平 田 村	93.42	1,925	2.8	5,442	2,694	2,748	58.3
浅 川 町	37.43	2,070	2.7	5,687	2,841	2,846	151.9
古 殿 町	163.29	1,616	2.8	4,452	2,205	2,247	27.3
三 春 町	72.76	6,072	2.7	16,485	8,214	8,271	226.6
小 野 町	125.18	3,365	2.6	8,765	4,370	4,395	70.0

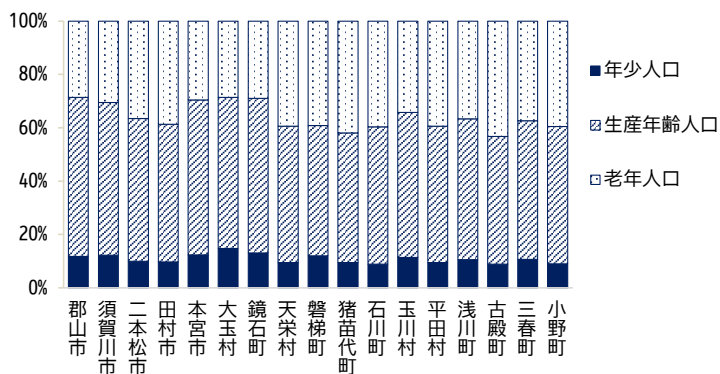
注：(1)*は、境界の一部が未定のため、参考値を示した。



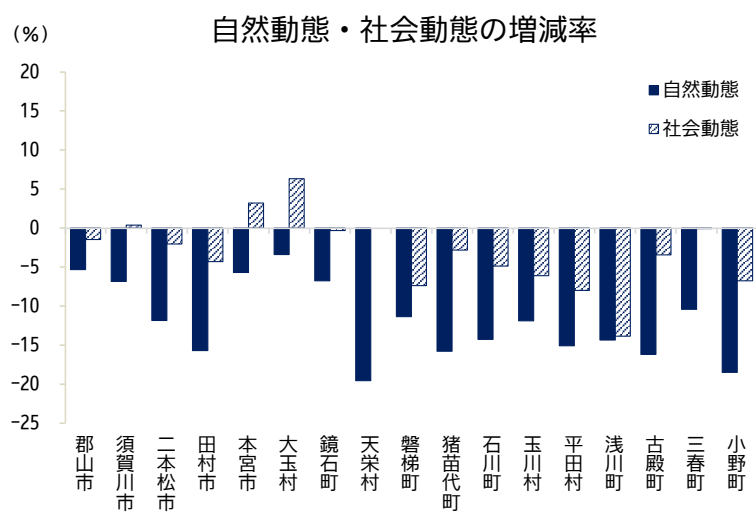
市 町 村 名	(6) 年少人口 (15歳未満) 人	(7) 生産年齢人口 (15-64歳) 人	(8) 老年人口 (65歳以上) 人	(9) 年少人口 割合 %	(10) 生産年齢 人口割合 %	(11) 老年人口 割合 %
調 査 期 日	令5.10.1	令5.10.1	令5.10.1	令5.10.1	令5.10.1	令5.10.1
県 計	189,515	965,743	577,720	10.9	55.7	33.3
圏 域 計	68,649	344,398	189,371	11.2	56.3	31.0
郡 山 市	36,947	186,639	89,469	11.8	59.6	28.6
須 賀 川 市	8,798	41,304	21,960	12.2	57.3	30.5
二 本 松 市	5,120	27,249	18,633	10.0	53.4	36.5
田 村 市	3,194	16,965	12,739	9.7	51.6	38.7
本 宮 市	3,683	17,528	8,857	12.3	58.1	29.6
大 玉 村	1,311	5,025	2,537	14.8	56.6	28.6
鏡 石 町	1,584	7,055	3,499	13.1	57.9	29.0
天 栄 村	470	2,571	1,942	9.5	51.1	39.4
磐 梯 町	378	1,577	1,237	12.0	48.8	39.2
猪 苗 代 町	1,208	6,335	5,309	9.5	48.5	41.9
石 川 町	1,222	7,202	5,443	8.9	51.4	39.7
玉 川 村	688	3,375	2,058	11.4	54.4	34.2
平 田 村	519	2,893	2,138	9.5	51.1	39.3
浅 川 町	597	3,053	2,074	10.5	52.8	36.6
古 殿 町	397	2,221	1,923	8.9	47.9	43.2
三 春 町	1,744	8,748	6,107	10.7	52.0	37.3
小 野 町	789	4,658	3,446	9.0	51.4	39.5

注：(6)～(11)年齢不詳補完

年齢3区分別人口割合



市 町 村 名	(12)人口動態								(13)	(14)平均寿命	
	自然動態			社会動態			婚姻	離婚	合計特殊 出生率 (ベース 推定値)	男	女
	出生数	死亡数	自然増減 率	転入	転出	社会増減 率					
	人	人	%	人	人	%	件	件		年	年
調 査 期 日	令4						令4		平30～令4年	令2	
県 計	9,804	27,351	△ 9.7	53,558	58,677	△ 2.8	6,088	2,561	1.37	80.6	86.8
圏 域 計	3,475	8,369	△ 8.0	19,253	20,183	△ 1.5	2,131	874	-	-	-
郡 山 市	1,978	3,708	△ 5.3	10,747	11,224	△ 1.5	1,309	541	1.34	81.0	87.1
須 賀 川 市	457	963	△ 6.8	2,201	2,173	0.4	223	86	1.44	80.8	87.2
二 本 松 市	275	899	△ 11.9	1,396	1,503	△ 2.0	128	58	1.33	81.5	87.4
田 村 市	115	653	△ 15.7	716	864	△ 4.3	87	30	1.30	80.6	86.6
本 宮 市	190	362	△ 5.7	1,054	958	3.2	112	35	1.33	80.7	87.0
大 玉 村	77	107	△ 3.4	316	260	6.3	37	13	1.49	80.9	87.3
鏡 石 町	63	146	△ 6.8	408	412	△ 0.3	50	24	1.40	81.0	86.8
天 栄 村	20	119	△ 19.5	199	199	0.0	7	7	1.36	80.1	86.4
磐 梯 町	14	51	△ 11.3	76	100	△ 7.4	7	5	1.39	80.9	87.0
猪 苗 代 町	47	255	△ 15.8	608	645	△ 2.8	39	4	1.32	80.4	87.1
石 川 町	50	253	△ 14.3	363	432	△ 4.9	32	25	1.30	81.1	86.7
玉 川 村	33	107	△ 11.9	139	177	△ 6.1	20	8	1.36	80.9	86.2
平 田 村	16	101	△ 15.1	168	213	△ 8.0	11	6	1.29	80.2	86.7
浅 川 町	22	107	△ 14.4	121	203	△ 13.8	11	4	1.38	80.8	86.9
古 殿 町	12	87	△ 16.2	110	126	△ 3.5	5	3	1.31	80.9	86.9
三 春 町	77	252	△ 10.4	401	402	△ 0.1	33	14	1.27	81.2	87.3
小 野 町	29	199	△ 18.5	230	292	△ 6.7	20	11	1.31	80.9	87.0

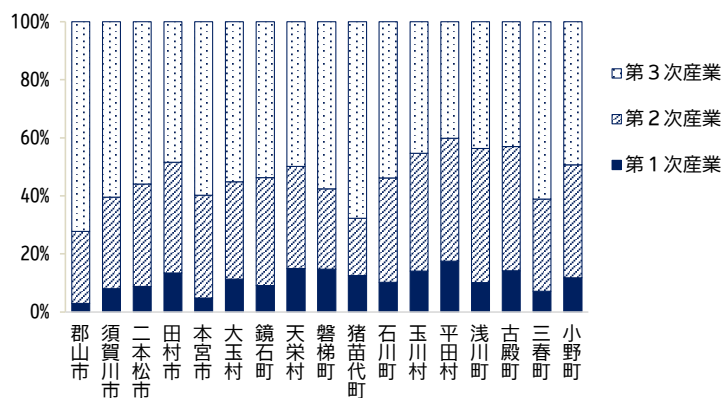


市 町 村 名	(15)就業者				(16)	(17)
	総数 人	第 1 次産業 人	第 2 次産業 人	第 3 次産業 人	事業所数 (民 営)	従業者数 (民 営) 人
調 査 期 日	令2.10.1				令3.6.1	令3.6.1
県 計	942,997	58,549	279,147	605,301	81,677	802,365
圏 域 計	331,661	20,489	97,791	213,381	28,077	283,399
郡 山 市	171,230	5,012	42,472	123,746	15,045	162,868
須 賀 川 市	40,177	3,235	12,669	24,273	3,080	28,698
二 本 松 市	28,388	2,503	10,009	15,876	2,329	22,249
田 村 市	18,482	2,485	7,046	8,951	1,569	13,202
本 宮 市	16,265	793	5,746	9,726	1,305	16,343
大 玉 村	4,884	556	1,637	2,691	250	2,457
鏡 石 町	6,655	610	2,471	3,574	493	5,244
天 栄 村	2,752	411	968	1,373	199	1,876
磐 梯 町	1,650	244	457	949	119	2,652
猪 苗 代 町	6,900	867	1,358	4,675	770	4,912
石 川 町	7,712	790	2,768	4,154	780	5,564
玉 川 村	3,542	498	1,440	1,604	299	2,500
平 田 村	3,304	579	1,397	1,328	244	2,016
浅 川 町	3,197	323	1,476	1,398	260	1,875
古 殿 町	2,585	367	1,105	1,113	252	1,799
三 春 町	9,130	651	2,901	5,578	623	5,702
小 野 町	4,808	565	1,871	2,372	460	3,442

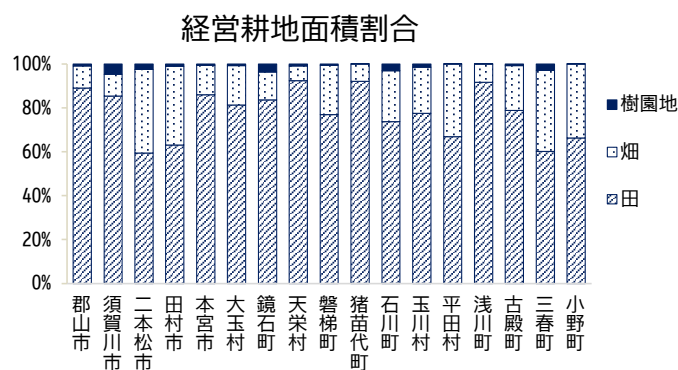
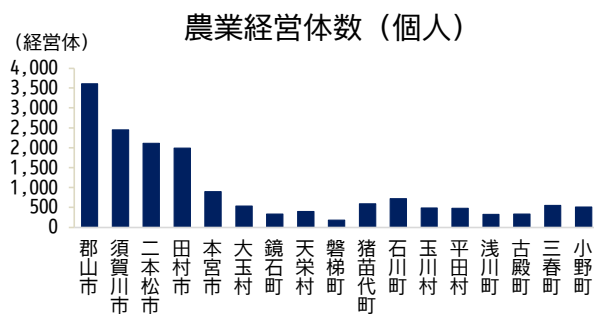
注：(15) 就業者総数には「不詳」を含む。

注：(16) 事業所数には「事業内容等不詳」を含む。

産業別就業人口割合

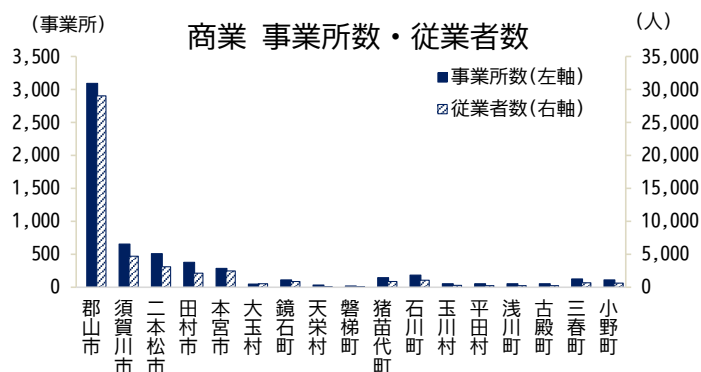
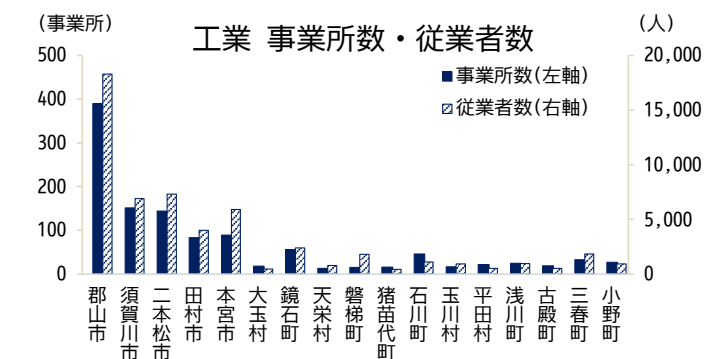


市 町 村 名	(18)農業経営体（個人）								(19)森林面積				
	経営体数	1 5 歳以上農業就業人口			経営耕地面積				総数	国有	民有		
		総数	男	女	総数	田	畑	樹園地			公有	私有	森林農地 整備セン ター
調 査 期 日	令2.2.1	令2.2.1							令4年度				
県 計	41,671	142,413	72,090	70,323	8,305,647	6,599,257	1,292,546	413,844	973,420	408,413	96,655	456,260	12,092
圏 域 計	16,477	54,561	27,570	26,991	3,159,899	2,546,615	557,208	56,076	195,273	63,455	21,867	107,221	2,730
郡 山 市	3,611	12,432	6,163	6,269	828,185	737,004	83,846	7,335	39,703	9,978	7,039	20,464	2,221
須 賀 川 市	2,451	9,224	4,692	4,532	560,435	478,789	55,637	26,009	11,812	2,745	1,882	6,999	186
二 本 松 市	2,114	7,401	3,787	3,614	320,159	190,392	121,710	8,057	15,368	2,432	1,094	11,842	-
田 村 市	1,992	2,420	1,273	1,147	230,974	145,627	82,930	2,417	30,274	9,883	1,003	19,374	14
本 宮 市	891	3,364	1,665	1,699	154,583	132,905	20,729	949	2,745	-	178	2,567	-
大 玉 村	532	1,989	987	1,002	122,619	99,710	22,053	856	4,968	2,824	556	1,588	-
鏡 石 町	333	1,265	644	621	74,908	62,649	9,462	2,797	327	-	11	316	-
天 栄 村	396	1,494	756	738	93,362	86,209	6,376	777	19,227	14,446	463	4,318	-
磐 梯 町	176	616	309	307	62,052	47,742	13,962	348	3,874	428	749	2,572	125
猪 苗 代 町	586	2,232	1,116	1,116	246,689	227,234	19,316	139	27,185	11,514	7,832	7,667	172
石 川 町	720	2,529	1,266	1,263	111,854	82,391	26,023	3,440	5,864	-	280	5,585	0
玉 川 村	483	1,844	937	907	53,881	41,726	11,338	817	2,122	691	174	1,257	-
平 田 村	479	1,623	847	776	76,611	51,180	25,381	50	5,715	1,351	66	4,298	-
浅 川 町	324	1,265	657	608	56,208	51,494	4,702	12	1,624	-	8	1,616	-
古 殿 町	334	1,110	555	555	33,634	26,486	6,874	274	13,497	6,192	107	7,198	-
三 春 町	546	1,965	1,003	962	58,059	34,901	21,409	1,749	2,334	-	68	2,254	12
小 野 町	509	1,788	913	875	75,686	50,176	25,460	50	8,634	971	357	7,306	-



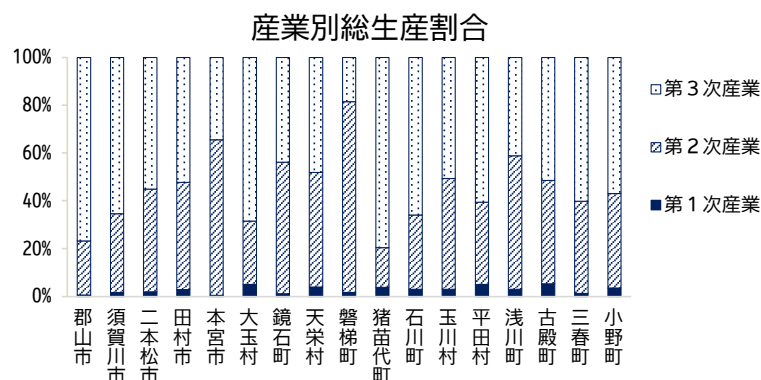
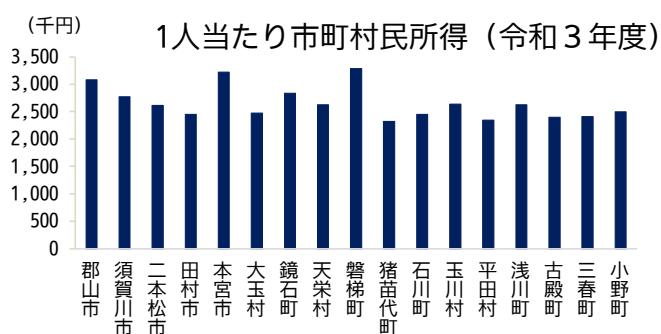
市 町 村 名	(20)工業			(21)商業				
	事業所数	従業者数 人	製造品出荷額 等 万円	事業所数			従業者数 人	年間商品 販売額 百万円
				総数 事業所	卸売業 事業所	小売業 事業所		
調 査 期 日	令4.6.1	令3	令3	令3.6.1			令2	
県 計	3,269	153,675	514,106,949	17,337	3,811	13,526	131,044	4,423,769
圏 域 計	1,164	55,074	174,115,339	5,883	1,541	4,342	47,177	1,884,052
郡 山 市	390	18,288	69,976,217	3,092	1,089	2,003	28,994	1,401,370
須 賀 川 市	151	6,913	17,312,092	656	142	514	4,715	131,570
二 本 松 市	144	7,321	19,627,949	506	77	429	3,115	79,958
田 村 市	83	4,004	9,938,410	375	39	336	2,130	47,026
本 宮 市	89	5,891	26,484,540	284	76	208	2,483	120,783
大 玉 村	18	455	1,125,249	48	9	39	517	12,164
鏡 石 町	56	2,386	6,310,094	109	21	88	869	18,787
天 栄 村	13	786	995,843	31	6	25	85	1,791
磐 梯 町	15	1,809	4,916,672	16	-	16	105	1,804
猪 苗 代 町	16	427	704,149	145	22	123	860	15,583
石 川 町	46	1,105	2,290,365	181	13	168	1,055	16,132
玉 川 村	17	937	4,357,081	51	6	45	286	4,982
平 田 村	22	525	1,390,187	50	2	48	213	3,330
浅 川 町	25	965	2,392,486	51	3	48	214	2,669
古 殿 町	19	512	1,065,865	53	5	48	213	1,924
三 春 町	33	1,828	3,954,874	125	20	105	683	14,735
小 野 町	27	922	1,273,266	110	11	99	640	9,444

注：(20)工業は、従業者4人以上の事業所。



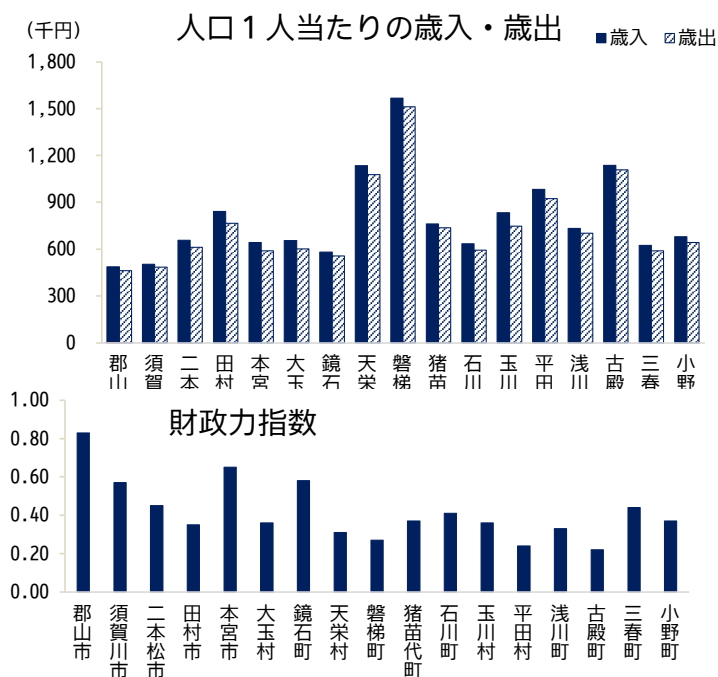
市 町 村 名	(22)市町村民所得					
	1人当たり市町村民所得		市町村内 総生産 百万円	産業別総生産		
	令和2年度 千円	令和3年度 千円		第1次産業 百万円	第2次産業 百万円	第3次産業 百万円
調 査 期 日	令和3年度		令和3年度			
県 計	2,823	2,921	7,844,733	96,497	2,705,668	4,962,646
圏 域 計	2,537	2,648	2,592,202	30,729	852,522	1,682,539
郡 山 市	2,959	3,078	1,386,301	7,449	311,494	1,053,234
須 賀 川 市	2,673	2,768	265,389	4,271	86,553	171,861
二 本 松 市	2,463	2,610	188,241	3,644	79,853	102,826
田 村 市	2,389	2,447	122,923	3,432	54,648	63,590
本 宮 市	3,029	3,219	235,500	1,013	151,670	80,417
大 玉 村	2,414	2,474	21,923	1,097	5,740	14,863
鏡 石 町	2,747	2,837	55,757	630	30,341	24,218
天 栄 村	2,556	2,624	20,386	782	9,670	9,726
磐 梯 町	2,892	3,286	39,926	656	31,534	7,329
猪 苗 代 町	2,275	2,320	40,790	1,516	6,706	32,152
石 川 町	2,339	2,450	46,720	1,404	14,328	30,513
玉 川 村	2,504	2,638	27,344	798	12,561	13,707
平 田 村	2,306	2,342	18,698	928	6,368	11,212
浅 川 町	2,476	2,623	19,719	586	10,902	8,030
古 殿 町	2,346	2,398	15,486	808	6,617	7,903
三 春 町	2,325	2,411	57,963	688	22,156	34,527
小 野 町	2,434	2,496	29,136	1,027	11,381	16,431

注：(22)市町村内総生産の産業別内訳には、輸入品に課される税・関税等が含まれないため、第1次産業から第3次産業の小計は県内総生産と合致しない。

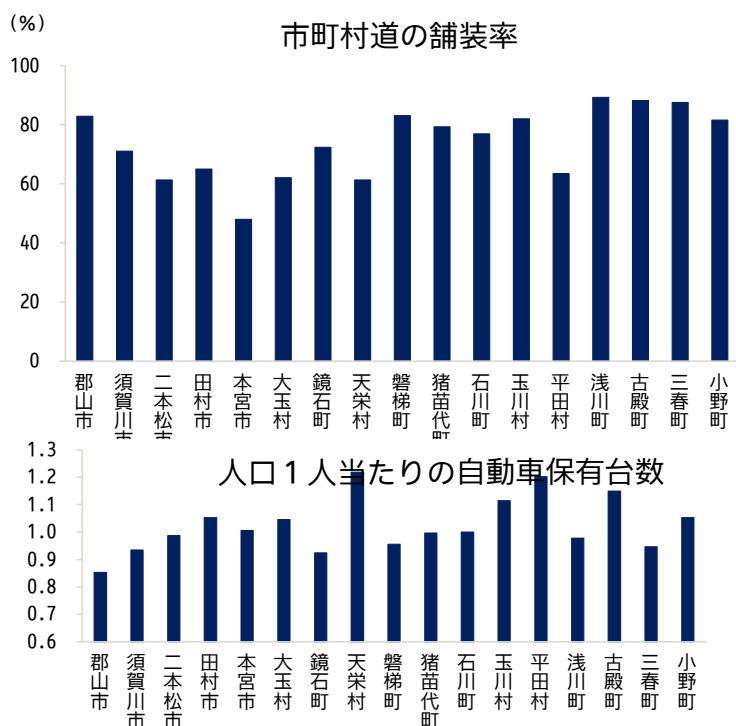


市 町 村 名	(23) 普通会計の決算状況								(24)	(25)
	歳入							歳出 総額 千円	地方債 現在高 割合 %	財政力指数 令2+令3+令4 年度 3
	歳入 総額 千円	うち 地方税 千円	うち 地方譲与税 千円	うち 地方交付税 千円	うち 国庫支出金 千円	うち 県支出金 千円	うち 地方債 千円			
調 査 期 日	令4年度								令4年度	
県 計	1,214,299,666	280,370,437	10,326,790	248,862,939	217,066,581	92,979,015	74,296,520	1,132,423,600	74.8	0.46
圏 域 計	351,187,806	90,396,960	3,537,324	72,654,810	60,615,651	24,433,603	25,814,440	332,024,003	-	-
郡 山 市	156,163,710	51,751,042	1,217,257	14,274,279	31,291,253	10,082,438	11,715,006	148,796,156	62.2	0.83
須 賀 川 市	36,685,610	9,714,490	468,864	8,655,352	7,286,770	2,907,641	2,219,600	35,452,235	117.5	0.57
二 本 松 市	33,655,397	6,801,440	456,098	9,190,782	5,293,757	2,599,284	2,429,634	31,372,576	103.8	0.45
田 村 市	27,830,899	3,857,082	297,423	9,157,689	4,300,374	1,768,635	1,434,979	25,316,084	72.9	0.35
本 宮 市	19,202,732	4,740,573	183,939	3,222,157	2,740,701	1,741,740	2,040,300	17,632,630	114.0	0.65
大 玉 村	5,825,398	1,005,081	74,193	2,006,124	823,788	469,877	272,600	5,346,794	72.0	0.36
鏡 石 町	7,026,172	1,689,636	73,300	1,678,054	1,191,428	518,865	534,501	6,715,550	94.7	0.58
天 栄 村	5,594,515	765,066	89,286	2,074,323	646,888	413,570	504,006	5,311,258	68.4	0.31
磐 梯 町	4,940,781	677,070	27,427	1,918,723	367,398	206,896	187,276	4,764,658	97.4	0.27
猪 苗 代 町	9,678,575	1,906,816	91,356	3,858,897	1,115,590	558,057	884,848	9,350,838	92.9	0.37
石 川 町	8,746,225	1,826,510	110,041	2,793,305	1,320,604	603,850	685,444	8,172,392	92.2	0.41
玉 川 村	5,020,193	738,956	53,340	1,906,522	731,395	321,372	387,977	4,507,100	75.2	0.36
平 田 村	5,349,007	642,372	74,099	2,387,295	497,900	301,199	665,378	5,023,329	141.9	0.24
浅 川 町	4,159,789	673,034	38,473	1,681,742	508,399	312,859	242,589	3,995,622	80.3	0.33
古 殿 町	5,062,892	510,421	90,184	2,446,949	593,671	235,201	383,790	4,927,842	115.1	0.22
三 春 町	10,293,975	1,911,760	111,461	2,995,024	1,181,328	983,127	857,800	9,701,672	82.0	0.44
小 野 町	5,951,936	1,185,611	80,583	2,407,593	724,407	408,992	368,712	5,637,267	97.9	0.37

注：(24)地方債現在高÷歳出決算総額

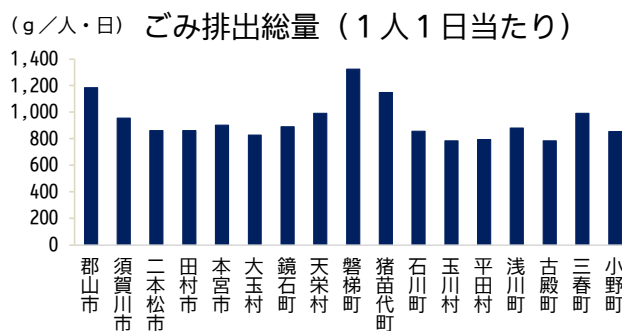
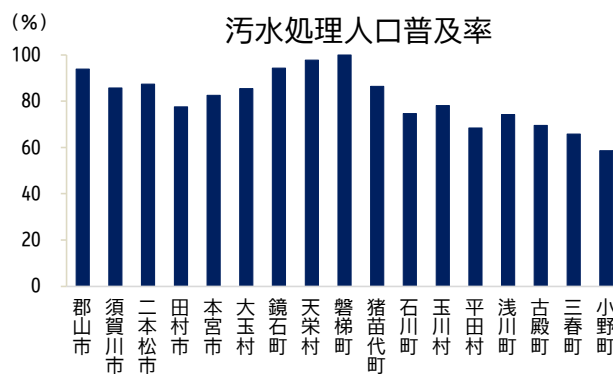


市 町 村 名	(26)市町村道の現況			(27)自動車保有台数			
	実延長 m	うち 舗装済延長 m	舗装率 %	総数 台	うち 乗用車 台	うち トラック 台	うち 軽自動車 台
調 査 期 日	令4.3.31			令6.3.31			
県 計	32,895,196	22,999,268	69.9	1,615,898	750,316	127,742	665,756
圏 域 計	11,861,762	8,479,603	71.5	562,721	263,776	47,694	226,429
郡 山 市	3,314,518	2,746,773	82.9	274,153	140,540	24,216	97,698
須 賀 川 市	1,469,397	1,044,418	71.1	68,299	31,879	5,550	27,901
二 本 松 市	2,033,954	1,246,002	61.3	50,658	20,489	4,076	24,049
田 村 市	1,113,842	723,586	65.0	34,817	13,778	2,496	17,075
本 宮 市	902,347	432,425	47.9	30,093	12,556	3,309	12,554
大 玉 村	333,994	207,101	62.0	9,295	3,860	860	4,048
鏡 石 町	243,936	176,468	72.3	11,172	5,154	997	4,513
天 栄 村	323,106	198,213	61.3	6,012	2,737	474	2,520
磐 梯 町	88,078	73,131	83.0	3,014	1,331	186	1,329
猪 苗 代 町	232,484	184,222	79.2	12,664	5,428	817	5,615
石 川 町	418,744	322,122	76.9	13,775	5,801	945	6,479
玉 川 村	194,902	159,746	82.0	6,717	2,800	609	3,058
平 田 村	279,666	177,459	63.5	6,540	2,500	597	3,102
浅 川 町	114,490	102,177	89.2	5,564	2,514	381	2,426
古 殿 町	216,072	190,413	88.1	5,117	2,050	442	2,455
三 春 町	343,672	300,757	87.5	15,605	6,546	1,063	7,319
小 野 町	238,560	194,590	81.6	9,226	3,813	676	4,288

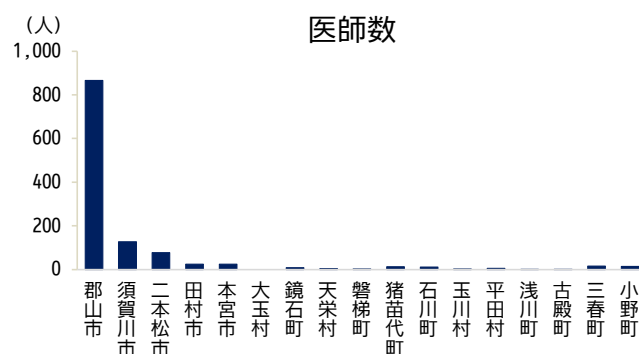
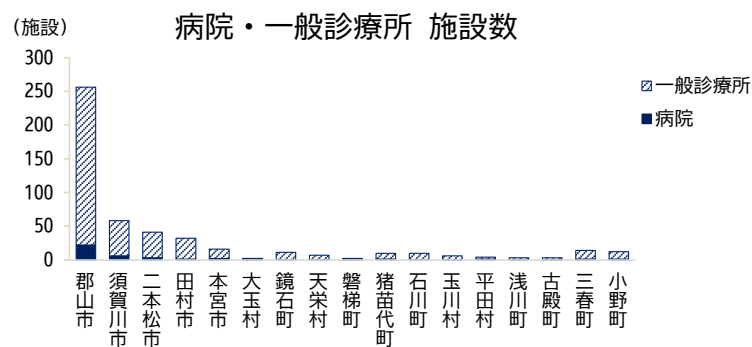


市 町 村 名	(28)消防				(29)交通事故			(30)	(31)
	消防団員 人	火災件数 件	人口1万人 当たり 出火率 %	建物火災の 損害額 千円	発生件数 件	死者数 人	傷者数 人	汚水処 理人口 普及率 %	ごみ排出 総量 (1人1日 当たり) g/人・日
調 査 期 日	令4.4.1 令3				令4			令6.3.31	令3年度
県 計	30,101	599	3.0	1,222,761	(22) 2,680 (-)	47	(33) 3,099	87.1	1,029
圏 域 計	9,351	203	3.3	271,467	922	12	1,054	-	15,886
郡 山 市	2,109	83	2.5	78,324	561	5	643	93.9	1,183
須 賀 川 市	855	17	2.3	61,116	118	3	127	85.7	954
二 本 松 市	1,430	20	3.9	25,643	41	1	44	87.4	861
田 村 市	1,179	19	5.4	33,896	36	1	42	77.6	862
本 宮 市	491	12	10.5	21,447	47	-	56	82.5	901
大 玉 村	160	2	2.2	2,484	14	-	17	85.5	828
鏡 石 町	154	-	-	-	15	-	19	94.3	890
天 栄 村	176	2	3.9	7	5	-	5	97.7	992
磐 梯 町	162	5	15.1	37	3	-	4	100.0	1,324
猪 苗 代 町	520	10	7.4	4,312	27	1	37	86.4	1,148
石 川 町	426	5	3.4	3,347	12	-	14	74.7	856
玉 川 村	252	5	7.9	551	4	-	4	78.1	785
平 田 村	211	3	5.2	20	5	-	5	68.4	794
浅 川 町	247	4	6.7	6	2	-	2	74.2	879
古 殿 町	236	5	10.5	17,574	3	-	3	69.5	785
三 春 町	393	7	4.1	22,301	20	1	20	65.8	990
小 野 町	350	4	4.2	402	9	-	12	58.6	854

注：(29)交通事故欄の()は、高速道における事故で外数（県合計のみ集計）。



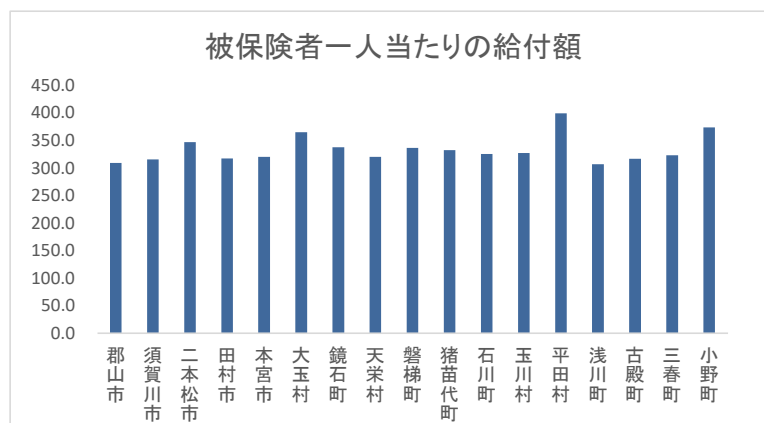
市 町 村 名	(32)医療						(33) 介護保険料 65歳以上 基準額月額 円	(34)国民年金の状況		
	施設数			従業地別				第1号 被保険 者数 人	老齡給 付受給 権者数 人	老齡給付 年金総額 千円
	病院数	一般診療所	歯科診療所	医師 人	歯科医師 人	薬剤師 人				
調 査 期 日	令4.10.1			令4.12.31			令6～8年度令5年度末現在			
県 計	124	1,390	834	4,096	1,398	3,791	6,340	165,043	...	...
圏 域 計	38	449	290	1,191	591	1,240	-	-	-	-
郡 山 市	22	234	171	866	434	835	6,300	31,214	79,037	45,642,166
須賀川市	6	52	36	127	46	122	6,470	6,867	19,168	10,512,717
二本松市	3	38	20	77	23	75	6,500	4,166	15,773	8,676,023
田 村 市	1	31	13	24	17	35	6,000	2,973	9,585	4,855,123
本 宮 市	2	14	14	24	17	50	5,800	2,401	7,678	4,344,776
大 玉 村	-	2	1	-	1	1	6,300	658	2,215	1,209,917
鏡 石 町	-	11	3	8	5	16	6,700	1,143	3,055	1,649,812
天 栄 村	-	7	2	3	2	3	6,500	401	1,713	861,851
磐 梯 町	-	2	-	2	-	5	7,400	268	1,114	705,313
猪 苗 代 町	1	9	6	12	9	16	5,800	1,130	4,413	2,365,689
石 川 町	-	10	7	11	14	20	5,600	1,185	4,444	2,269,809
玉 川 村	-	6	1	2	2	10	5,950	510	1,771	898,991
平 田 村	1	3	3	4	4	8	6,400	460	1,529	658,012
浅 川 町	-	3	2	1	4	5	4,800	484	1,735	906,199
古 殿 町	-	3	2	1	4	2	6,400	375	1,448	673,592
三 春 町	1	13	6	15	6	28	5,758	1,358	5,089	2,884,726
小 野 町	1	11	3	14	3	9	6,600	775	2,730	1,366,514



市 町 村 名	(35)国民健康保険の状況		(36)保育所		(37)児童館	(38)幼稚園（公立・私立）			(39)幼保連携型認定こども園（公立・私立）		
	被保険者数	保険給付額	保育所数	定員	児童館数	園数	園児数	教員数 (本務者)	園数	園児数	教員数 (本務者)
	人	千円		人			人	人		人	人
調 査 期 日	令3年度末現在		令4.10.1		令4.10.1	令5.5.1			令5.5.1		
県 計	394,859	132,177,597	391	35,762	51	207	13,499	1,536	112	13,014	2,278
圏 域 計	127,636	40,783,061	130	11,817	12	72	5,624	627	33	4,352	744
郡 山 市	62,475	19,313,294	60	5,039	1	30	4,071	457	6	829	127
須賀川市	15,830	4,991,718	21	1,874	1	5	257	27	11	1,358	261
二本松市	11,202	3,882,883	15	1,094	2	13	246	36	5	442	74
田 村 市	8,083	2,562,568	6	690	2	9	154	16	1	364	46
本 宮 市	5,590	1,788,256	8	732	2	6	259	26	0	0	0
大 玉 村	1,692	617,291	1	150	-	2	257	14	0	0	0
鏡 石 町	2,621	884,010	4	419	2	1	41	6	2	328	50
天 栄 村	1,322	423,264	1	60	-	2	90	8	0	0	0
磐 梯 町	852	286,581	1	50	1	1	70	8	0	0	0
猪苗代町	3,216	1,067,567	2	297	1	-	-	-	2	274	60
石 川 町	3,531	1,148,465	3	303	-	-	-	-	1	106	14
玉 川 村	1,485	485,889	1	190	-	-	-	-	1	183	37
平 田 村	1,407	561,034	1	180	-	-	-	-	1	127	23
浅 川 町	1,290	395,562	1	72	-	1	101	11	0	0	0
古 殿 町	1,165	368,946	1	160	-	-	-	-	1	98	5
三 春 町	3,718	1,200,764	3	342	-	2	78	18	1	92	22
小 野 町	2,157	804,969	1	165	-	-	-	-	1	151	25

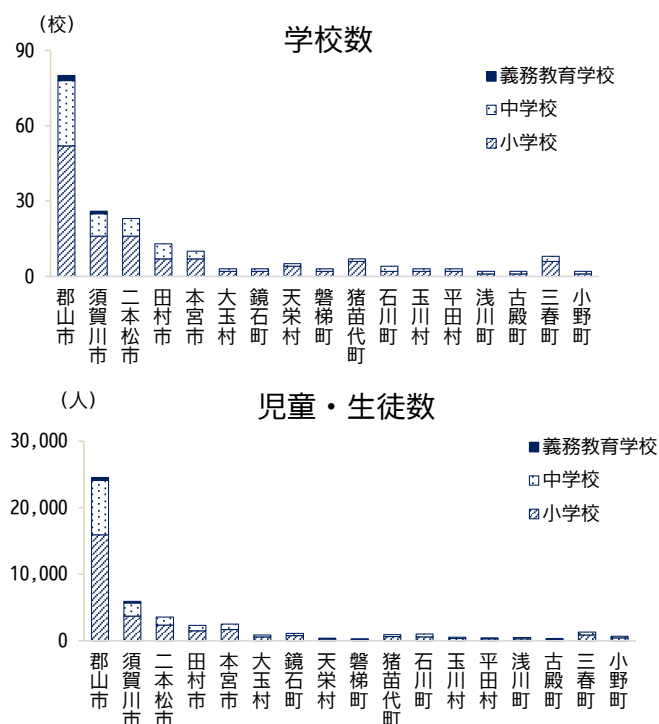
注：（35）県計には国保組合分が含まれているため、「市計＋町村計」と一致しない。

注：（36）保育所の定員は、調査していない施設を除く。



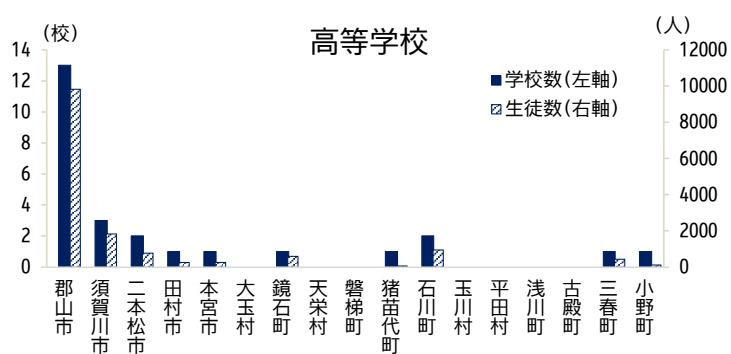
市 町 村 名	(40)小学校（公立・私立）			(41)中学校（公立・私立）				(42)義務教育学校（公立）			
	学校数	児童数 人	教員数 (本務者) 人	学校数	生徒数 人	教員数 (本務者) 人	高等学校等 進学率 %	学校数	児童 生徒数 人	教員数 (本務者) 人	高等学校等 進学率 %
調 査 期 日	令5.5.1			令5.5.1			令5.3卒業者	令5.5.1			令5.3卒業者
県 計	390	83,340	6,510	212	44,224	4,056	97.8	7	1,374	179	98.3
圏 域 計	129	29,961	2,213	65	15,819	1,341	-	3	668	69	-
郡 山 市	52	15,939	1,032	26	8,180	637	96.1	2	408	48	96.1
須 賀 川 市	16	3,658	262	9	1,966	174	97.5	1	260	21	100
二 本 松 市	16	2,332	210	7	1,199	115	96.7	-	-	-	-
田 村 市	7	1,439	119	6	828	90	99.6	-	-	-	-
本 宮 市	7	1,636	132	3	848	75	96.1	-	-	-	-
大 玉 村	2	558	40	1	282	22	98.5	-	-	-	-
鏡 石 町	2	707	42	1	341	24	97.1	-	-	-	-
天 栄 村	4	208	37	1	111	13	97.8	-	-	-	-
磐 梯 町	2	172	22	1	81	12	100.0	-	-	-	-
猪 苗 代 町	6	567	71	1	300	26	97.9	-	-	-	-
石 川 町	2	540	41	2	443	30	99.2	-	-	-	-
玉 川 村	2	298	27	1	171	17	88.4	-	-	-	-
平 田 村	2	254	27	1	120	13	96.5	-	-	-	-
浅 川 町	1	270	23	1	168	19	100.0	-	-	-	-
古 殿 町	1	167	15	1	136	13	100.0	-	-	-	-
三 春 町	6	827	84	2	414	40	100.0	-	-	-	-
小 野 町	1	389	29	1	231	21	98.8	-	-	-	-

注：（42）は義務教育学校の所在地別の統計。



市 町 村 名	(43)高等学校 (公立・私立)			
	学校数	生徒数 人	教員数 (本務者) 人	大学等 進学率 %
調 査 期 日	令5.5.1		令5.5.1	令5.3卒業者
県 計	97	42,668	3,806	50.1
圏 域 計	26	15,054	1,178	-
郡 山 市	13	9,832	657	62.1
須 賀 川 市	3	1,820	152	44.5
二 本 松 市	2	773	89	29.3
田 村 市	1	249	32	20.0
本 宮 市	1	251	30	14.6
大 玉 村	-	-	-	-
鏡 石 町	1	591	62	8.4
天 栄 村	-	-	-	-
磐 梯 町	-	-	-	-
猪 苗 代 町	1	57	13	28.6
石 川 町	2	949	74	49.7
玉 川 村	-	-	-	-
平 田 村	-	-	-	-
浅 川 町	-	-	-	-
古 殿 町	-	-	-	-
三 春 町	1	430	43	33.9
小 野 町	1	102	26	7.9

注：(43)は高等学校の所在地別の統計。



3 施設位置図

(1) 医薬関連機関位置図



(2) 救急医療機関位置図

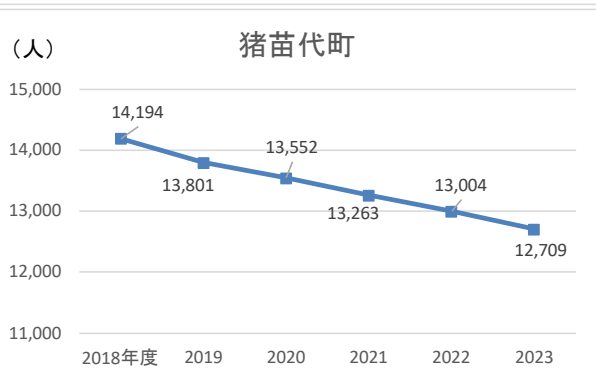
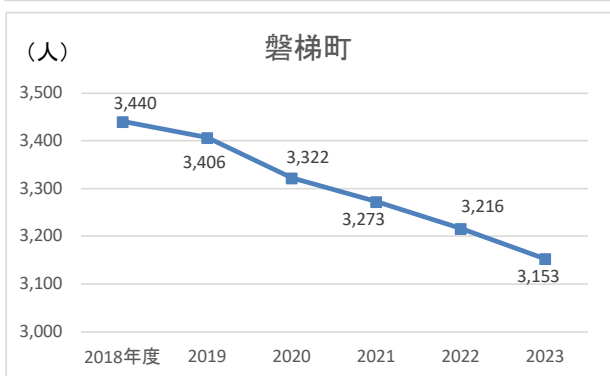
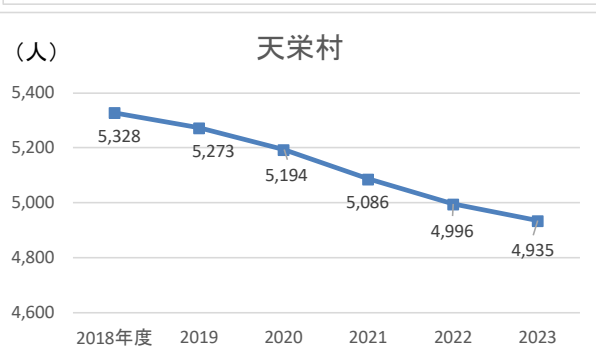
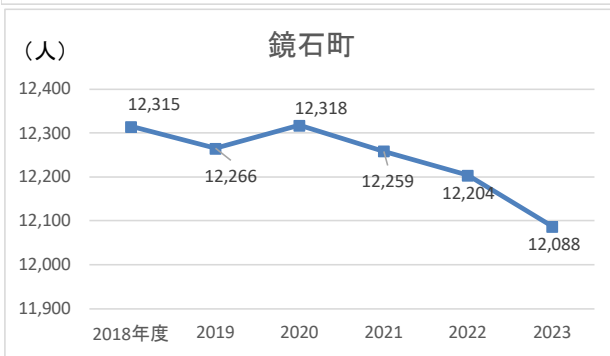
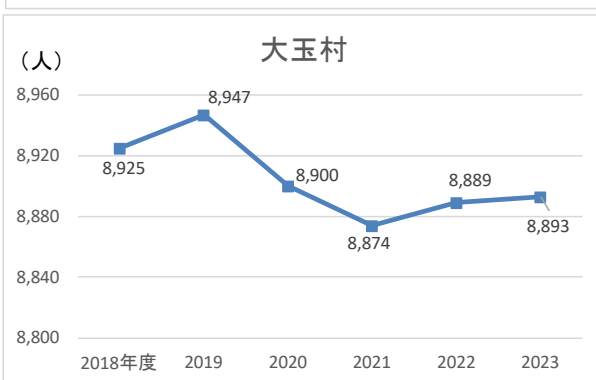
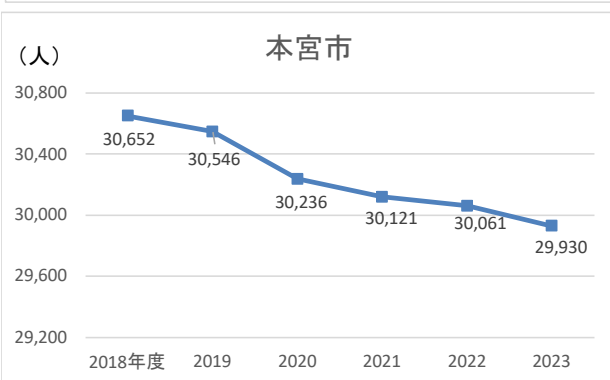
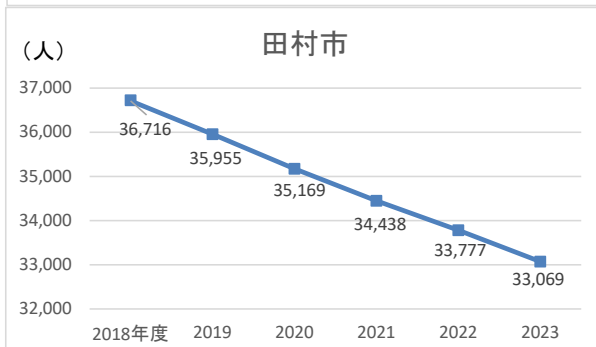
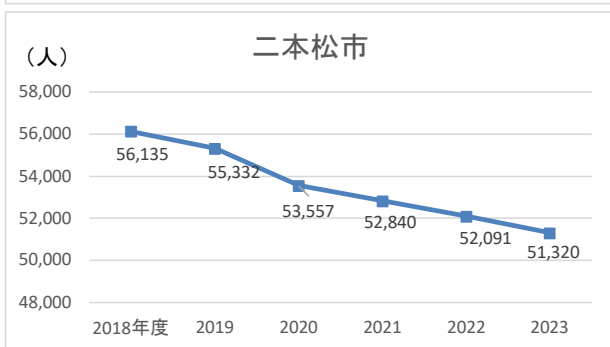
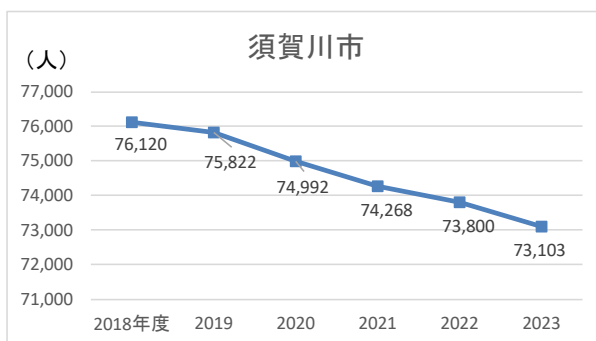
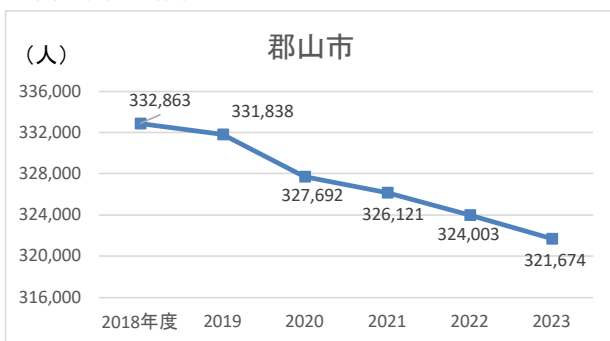


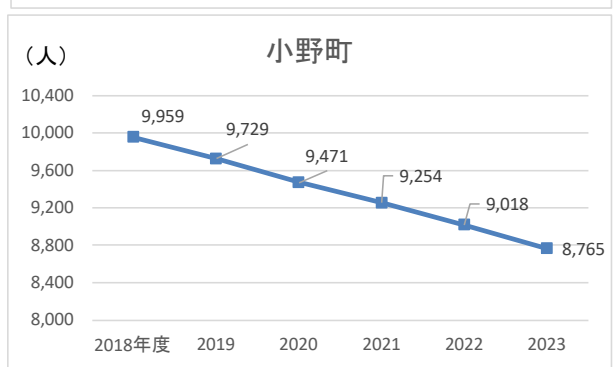
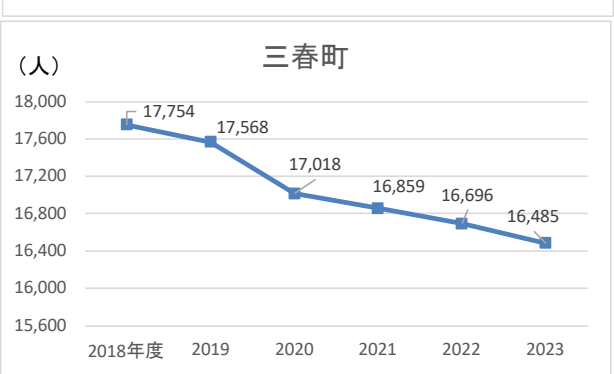
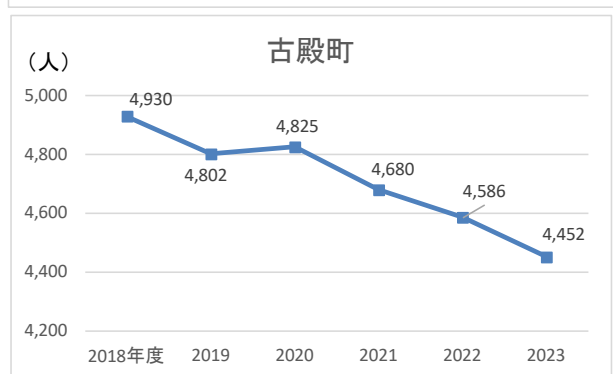
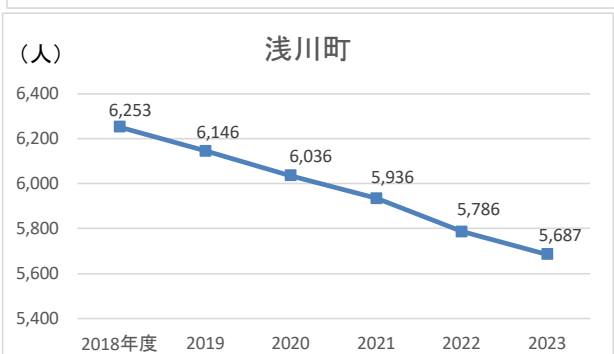
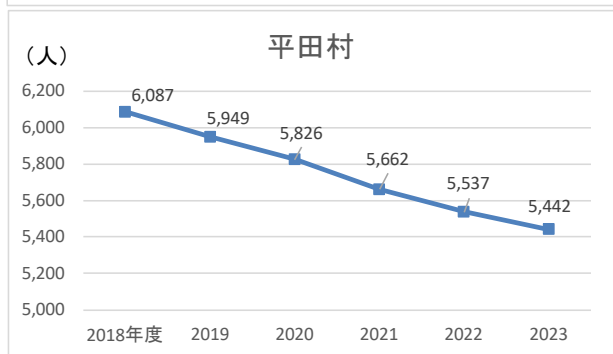
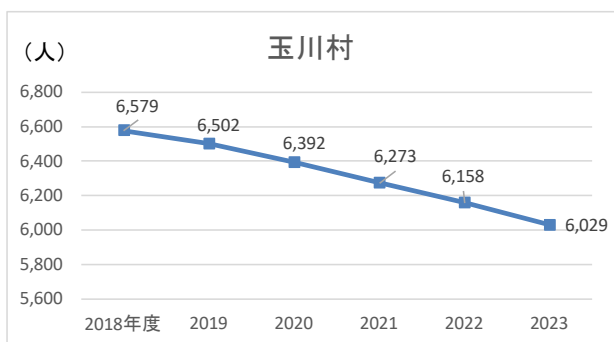
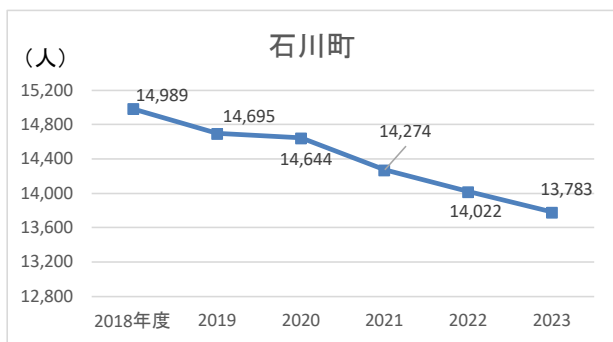
(3) 大学・研究開発等拠点施設位置図



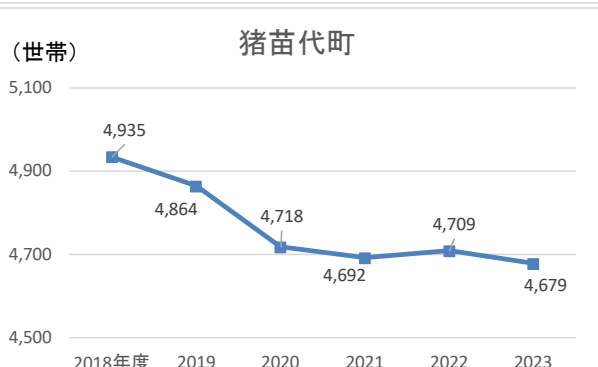
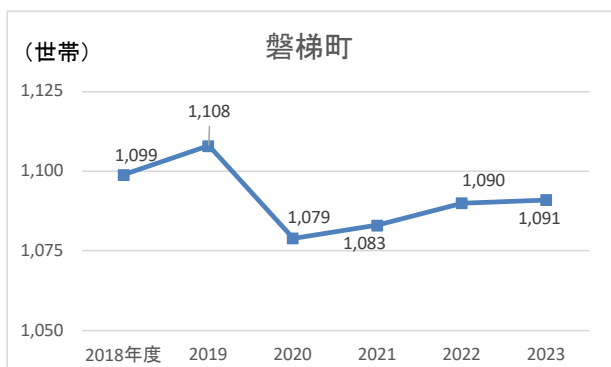
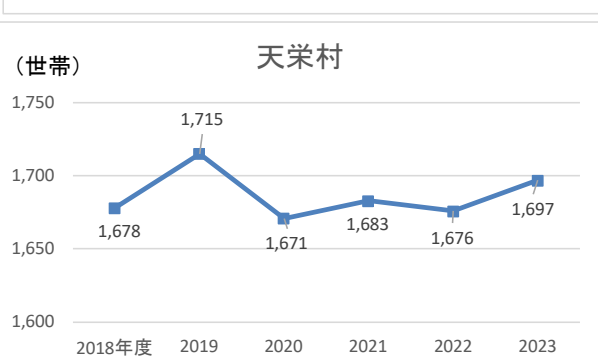
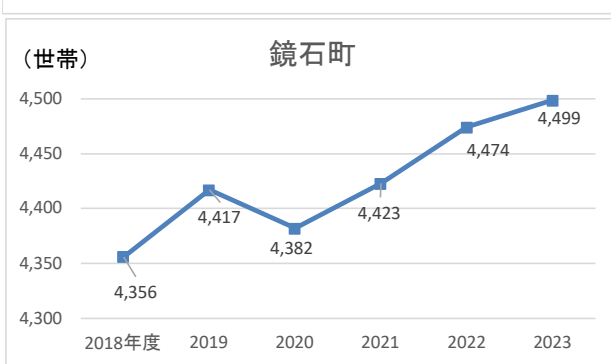
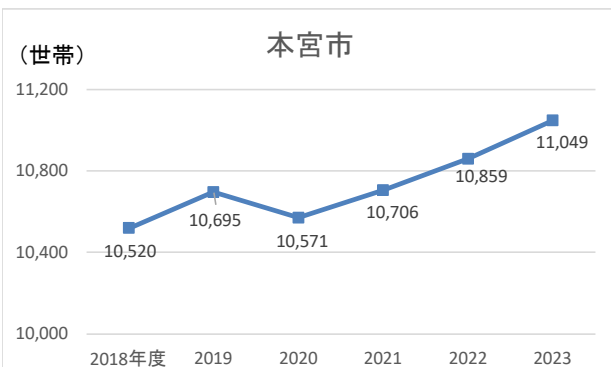
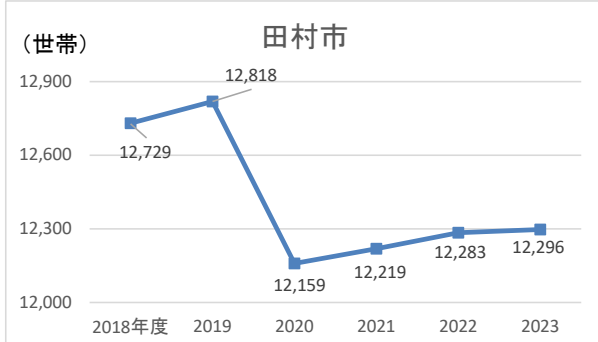
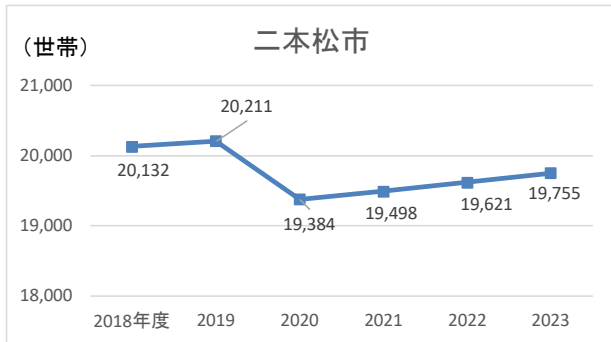
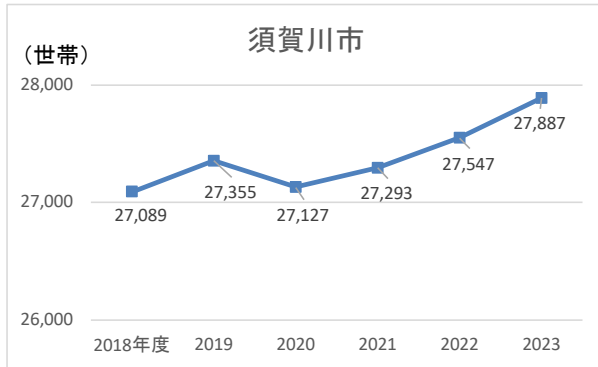
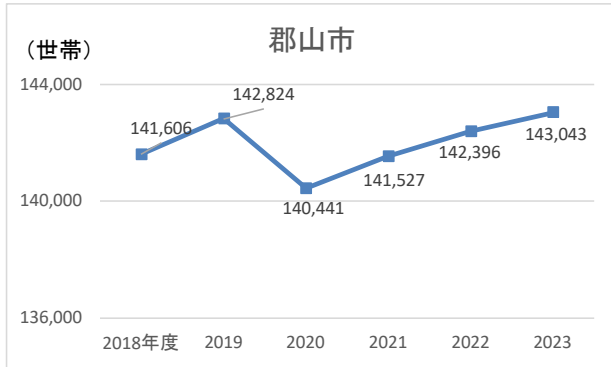
4 各自治体のデータ推移

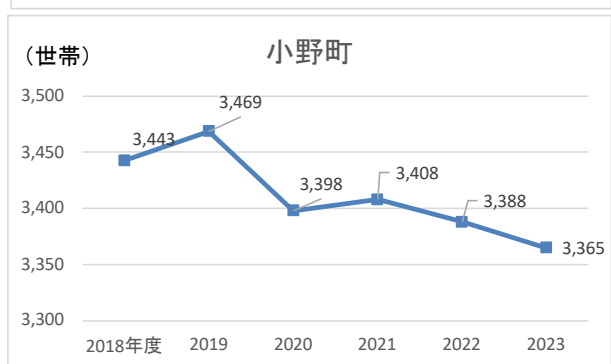
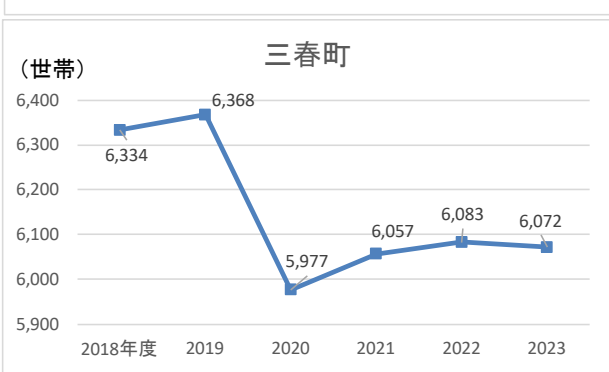
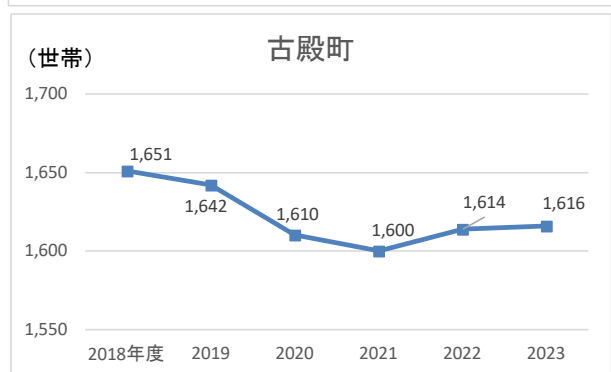
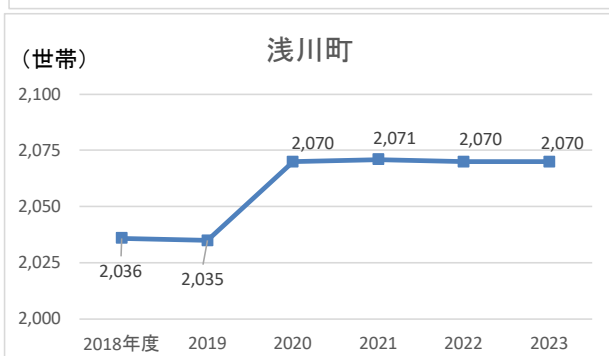
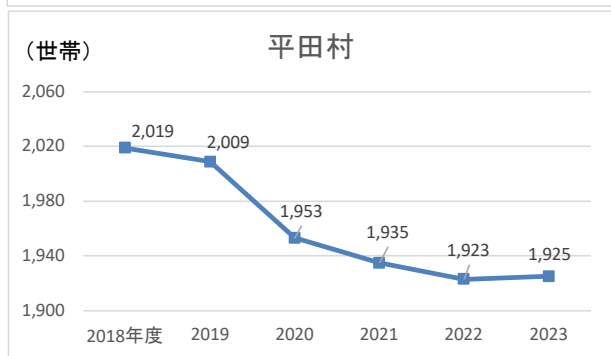
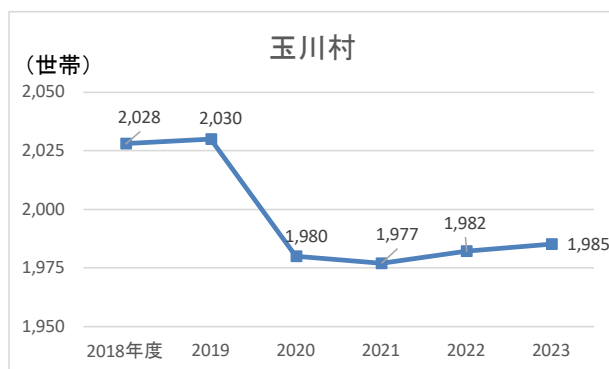
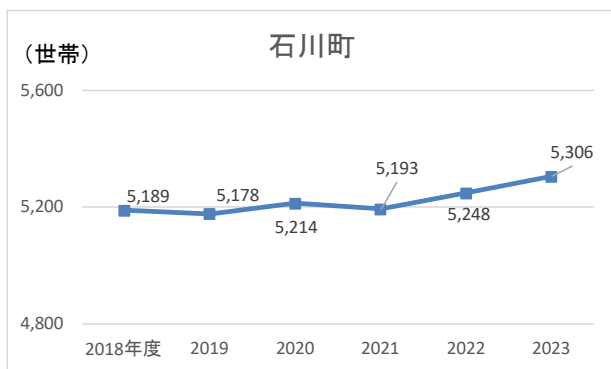
(1) 人口の推移



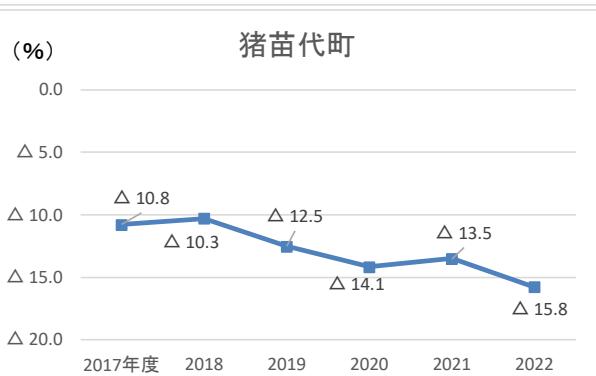
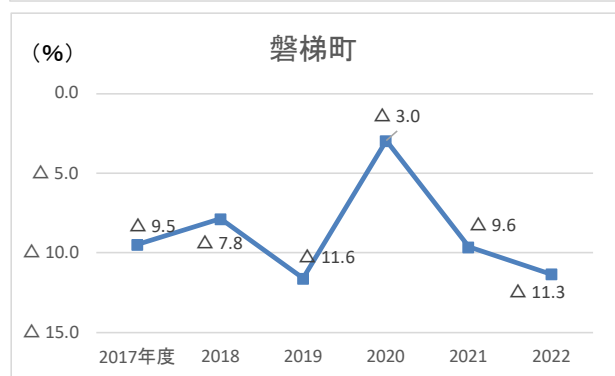
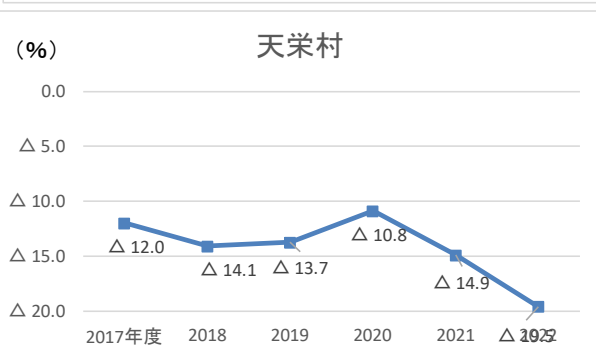
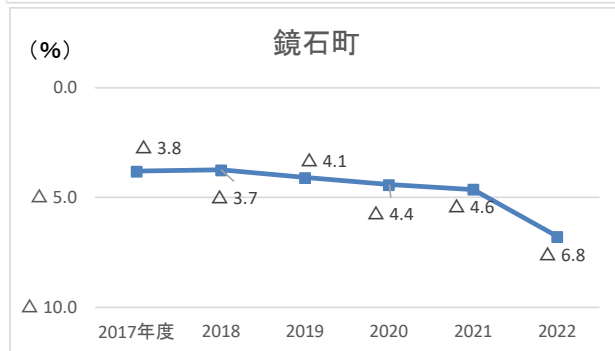
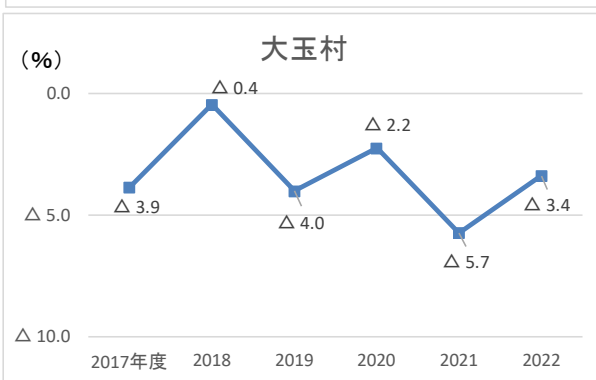
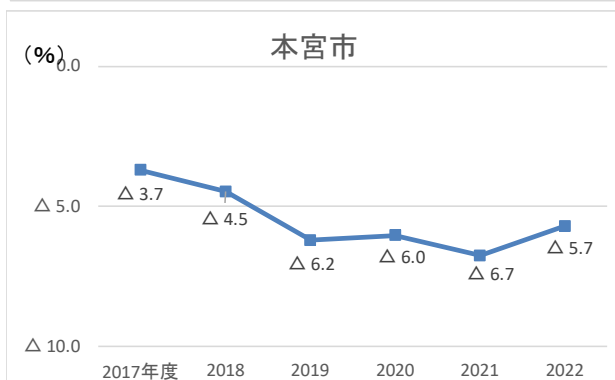
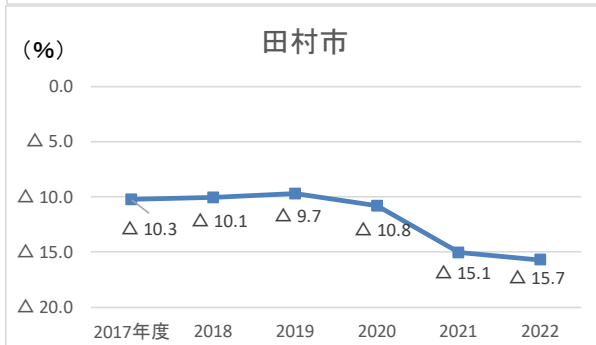
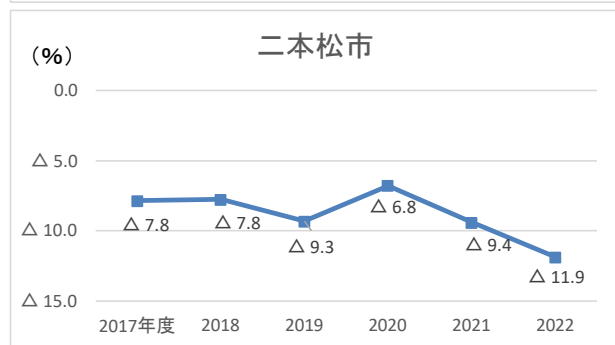
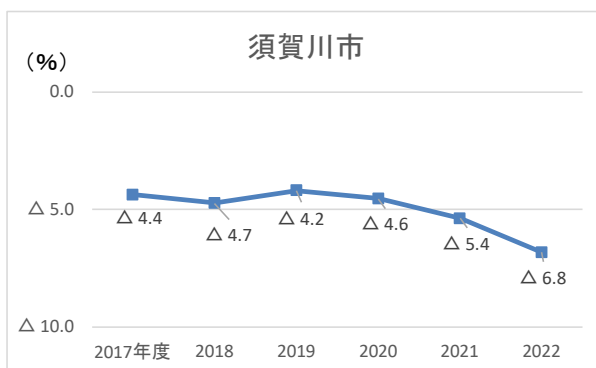
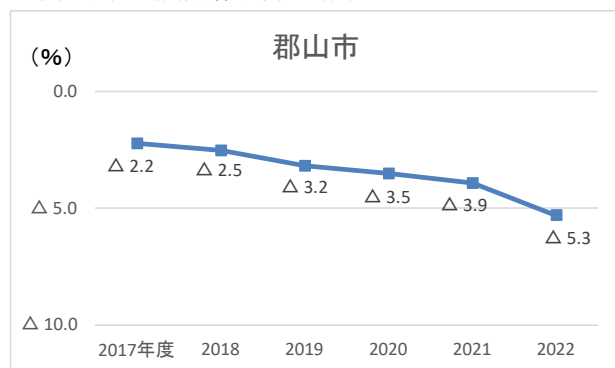


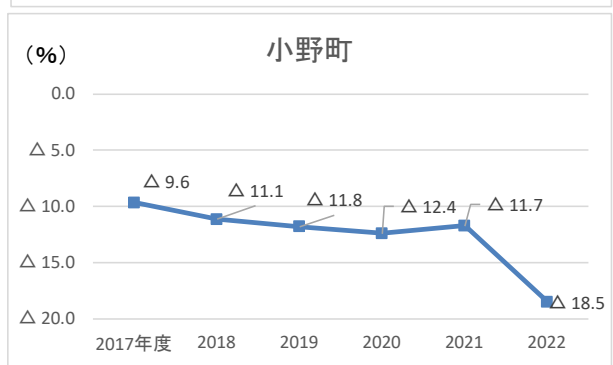
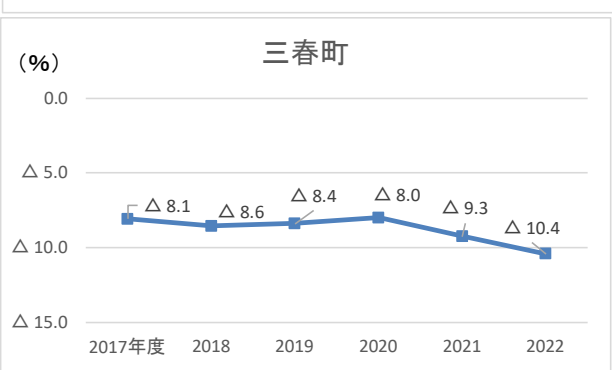
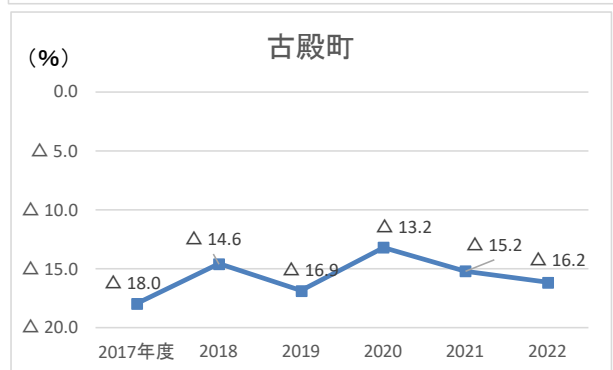
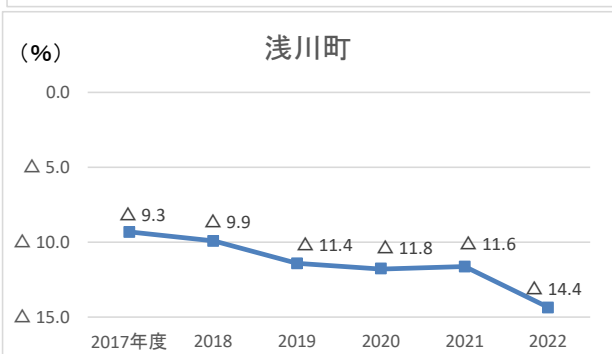
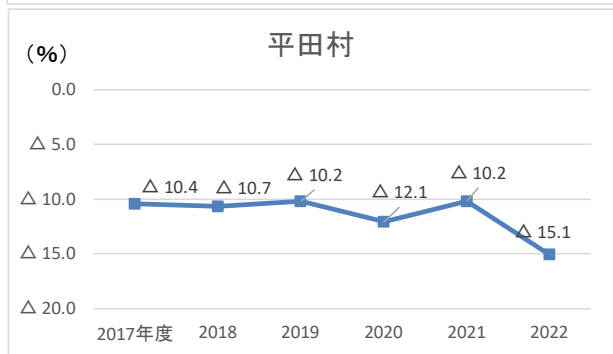
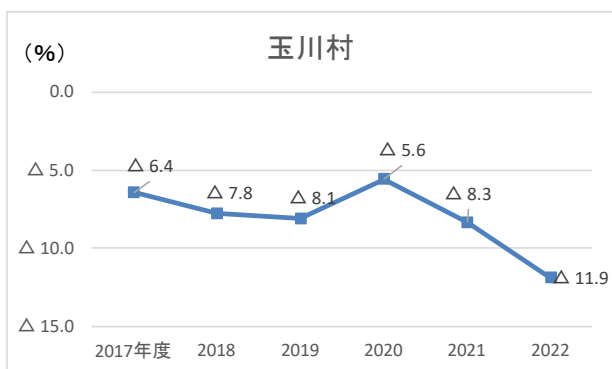
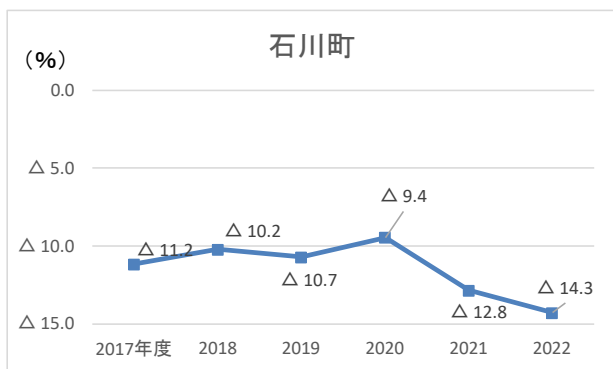
(2) 世帯数の推移



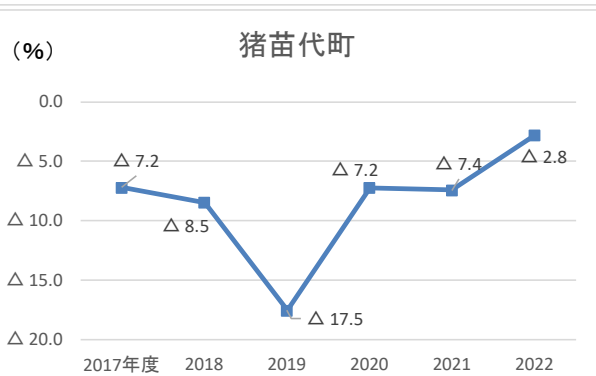
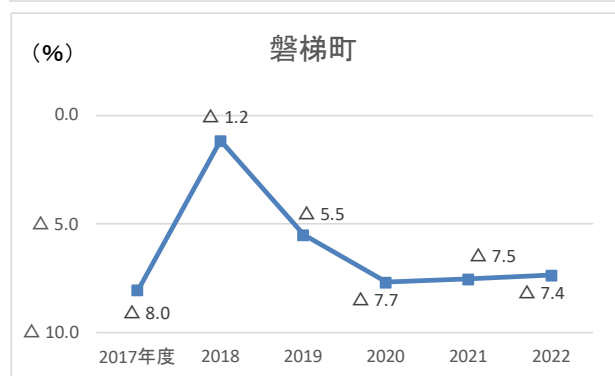
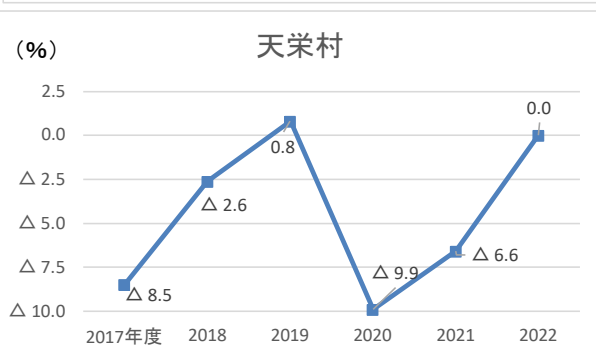
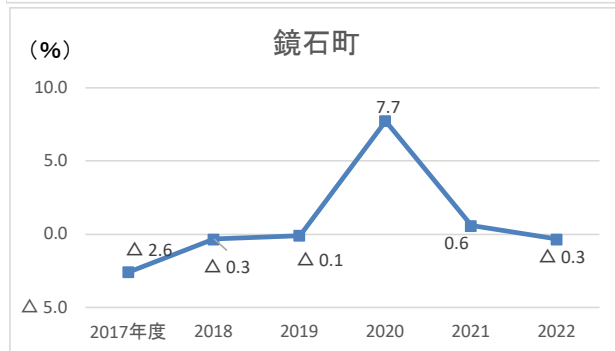
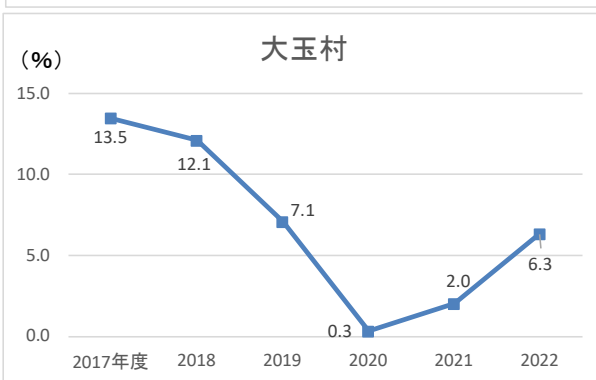
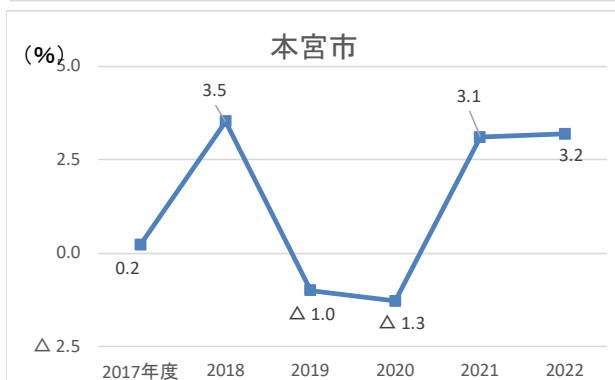
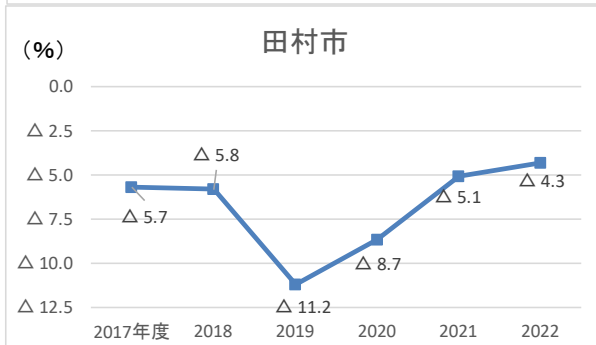
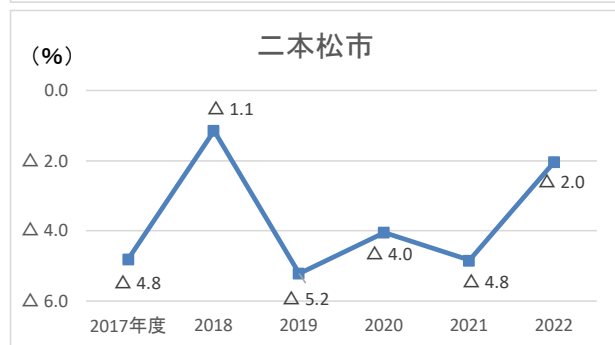
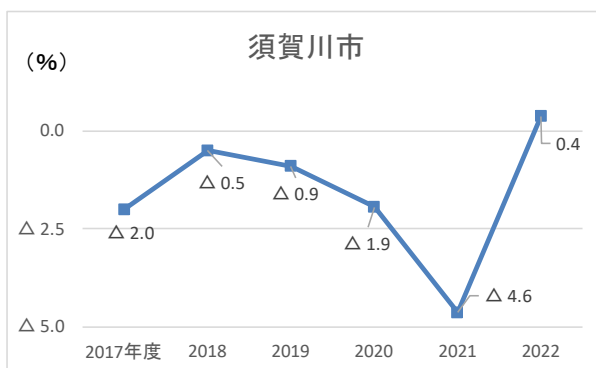
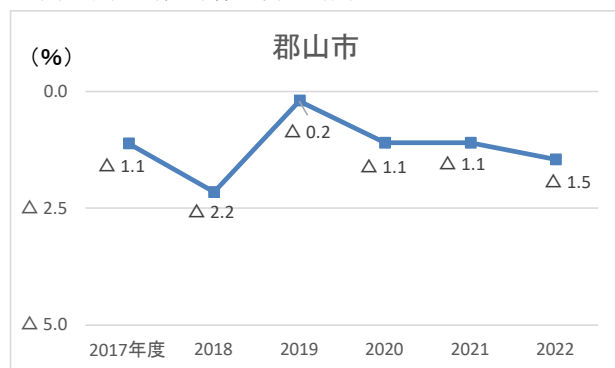


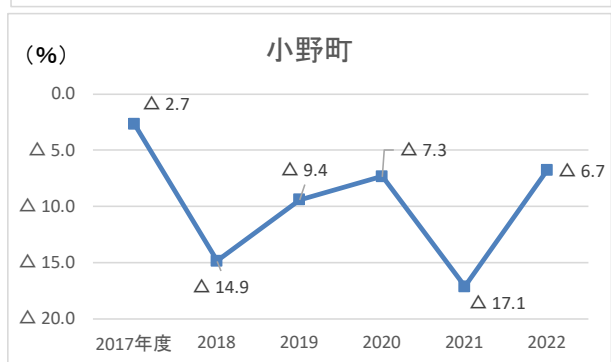
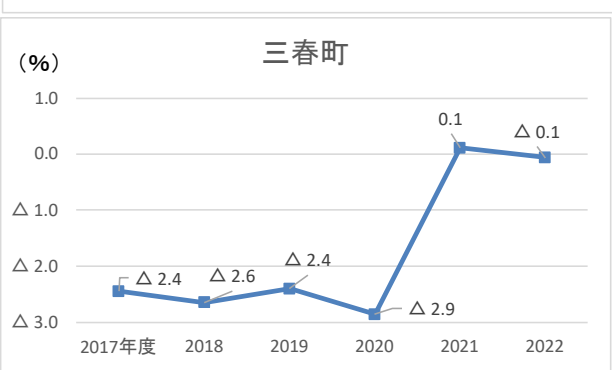
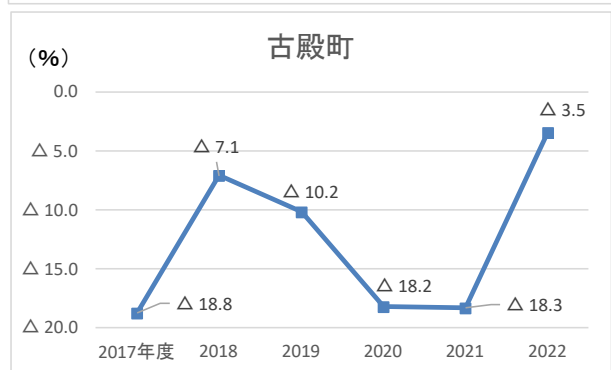
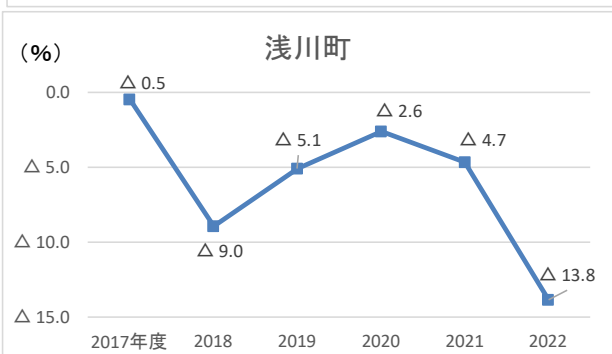
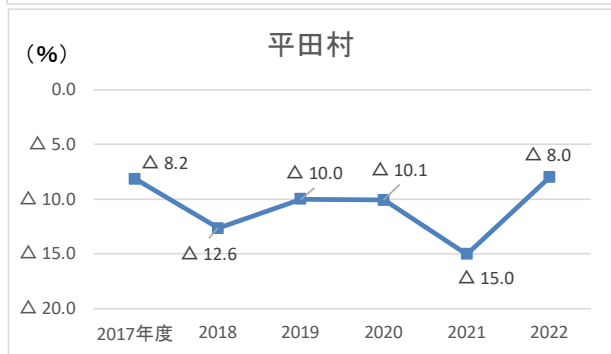
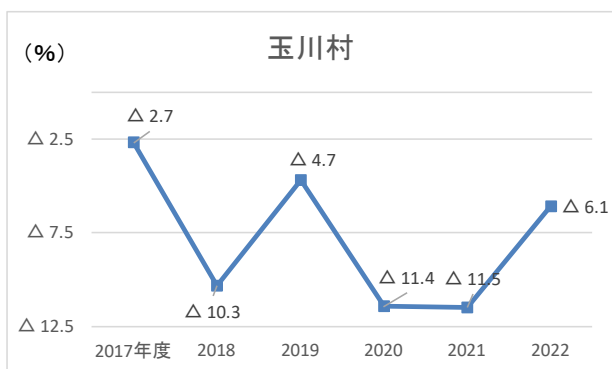
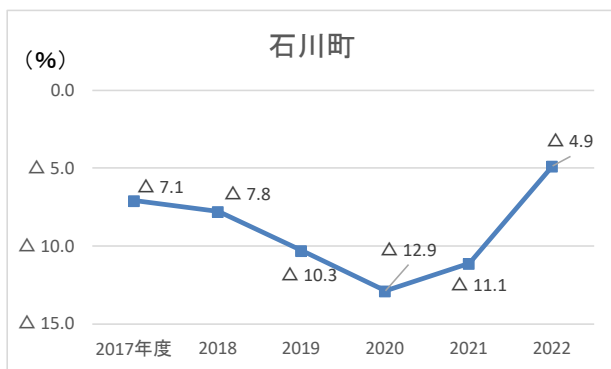
(3) 人口（自然増減率）の推移



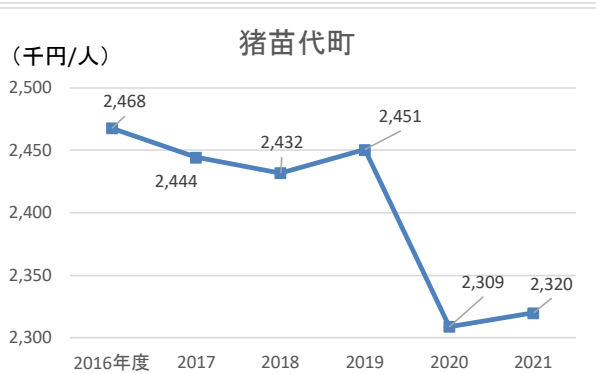
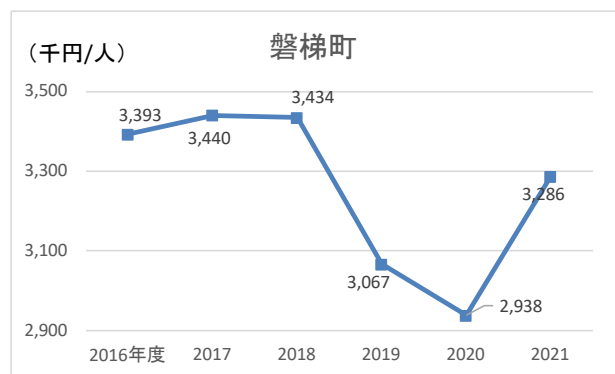
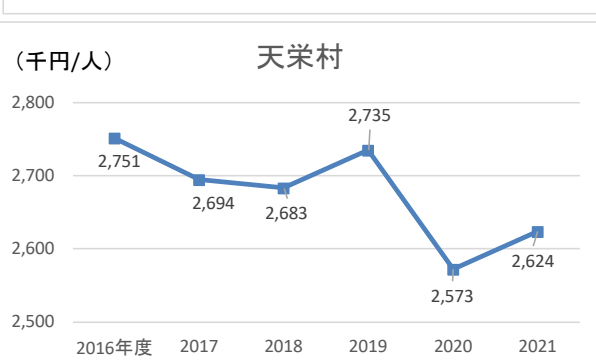
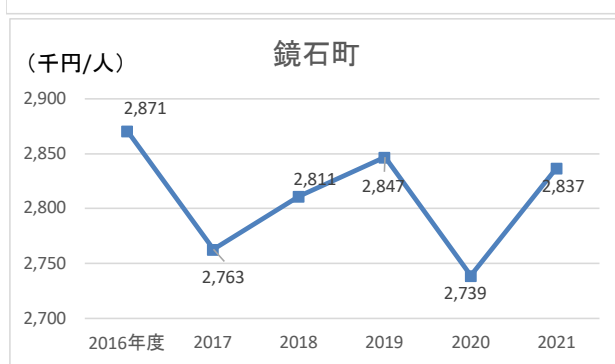
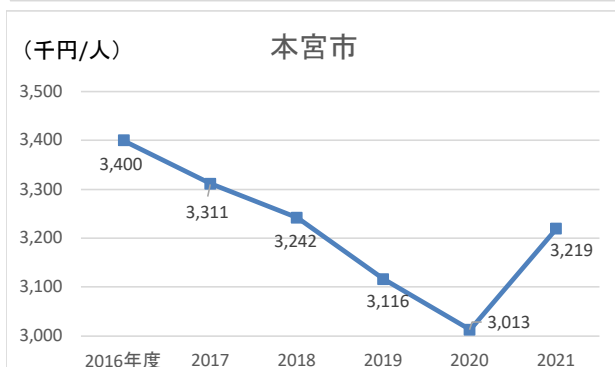
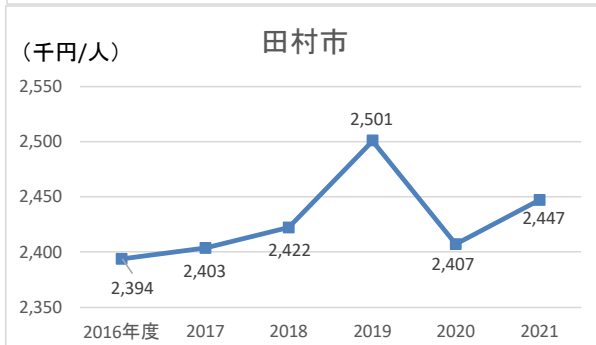
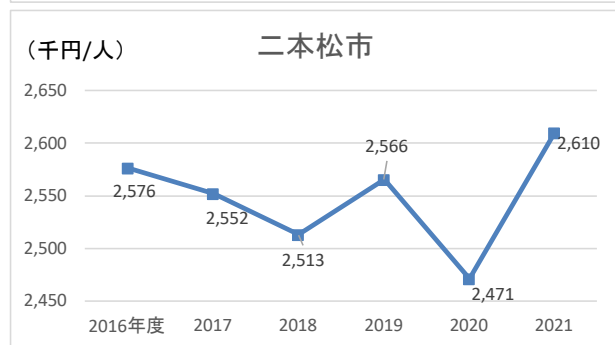
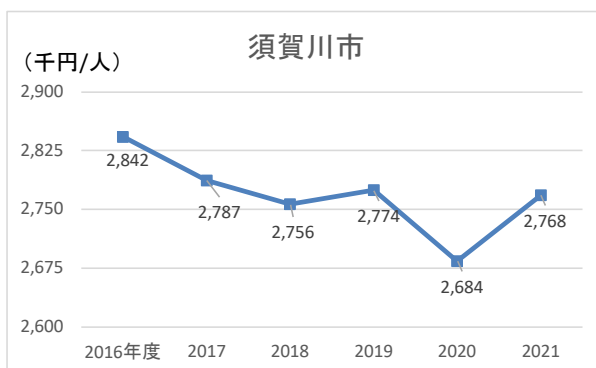
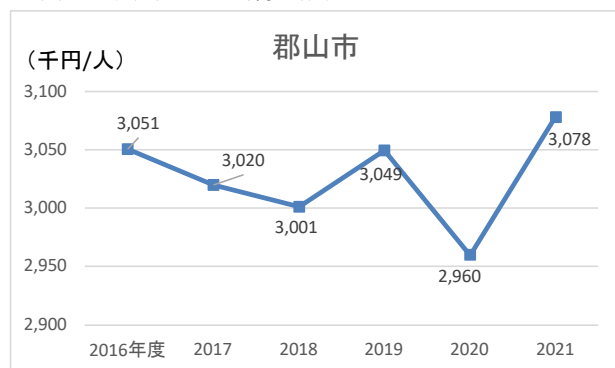


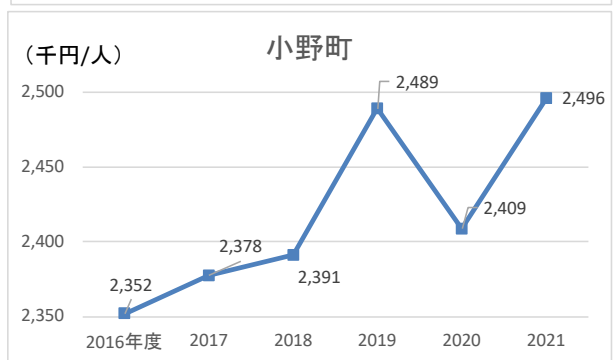
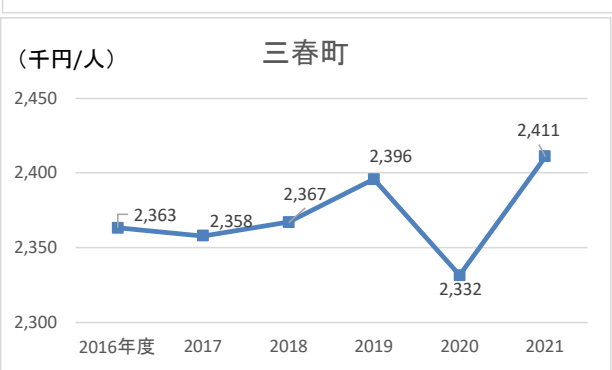
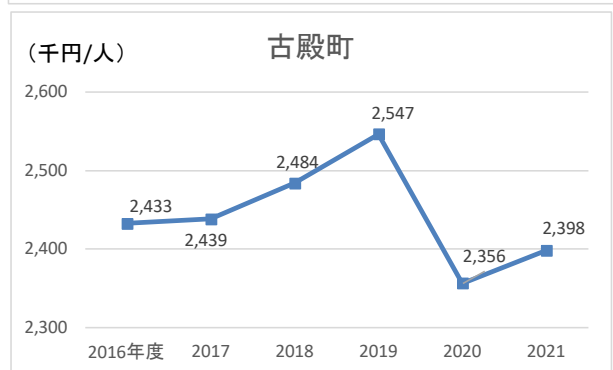
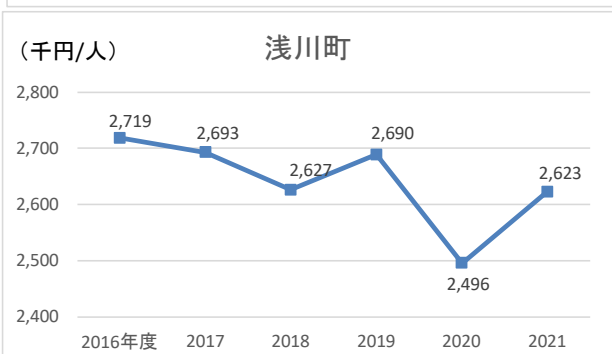
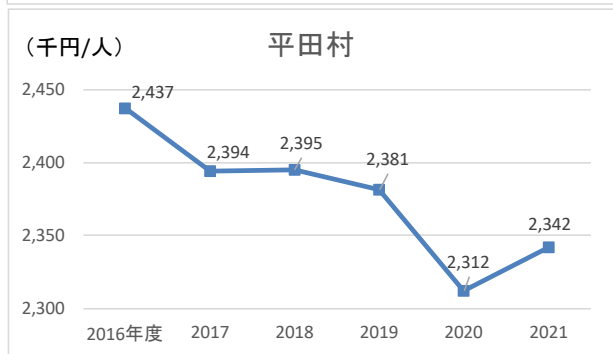
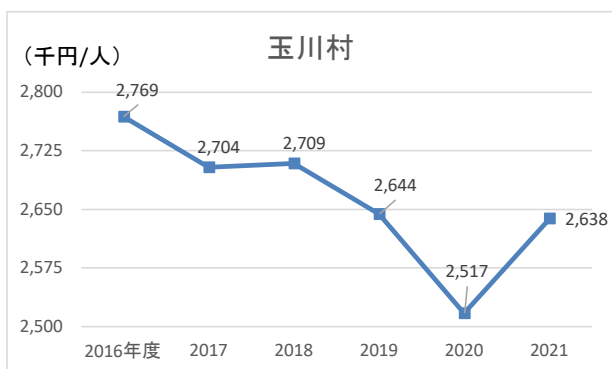
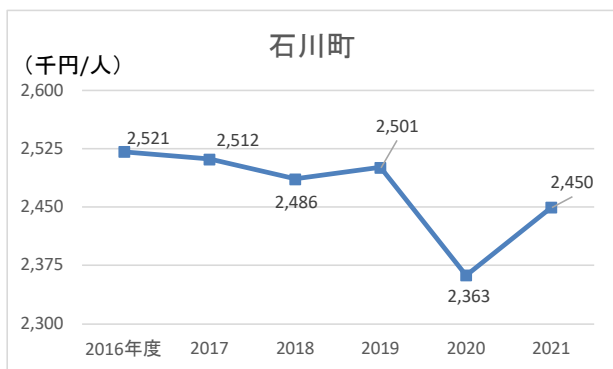
(4) 人口（社会増減率）の推移



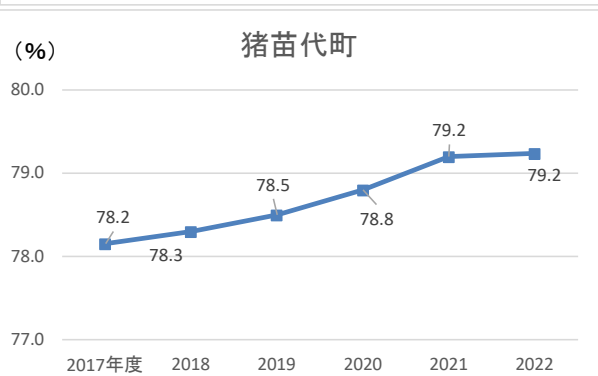
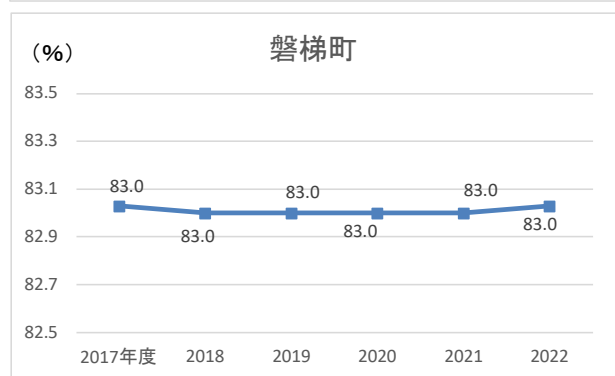
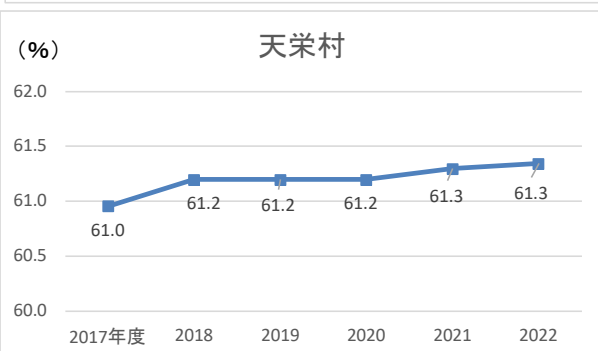
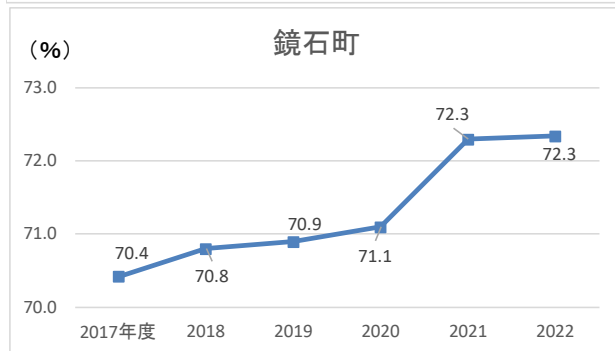
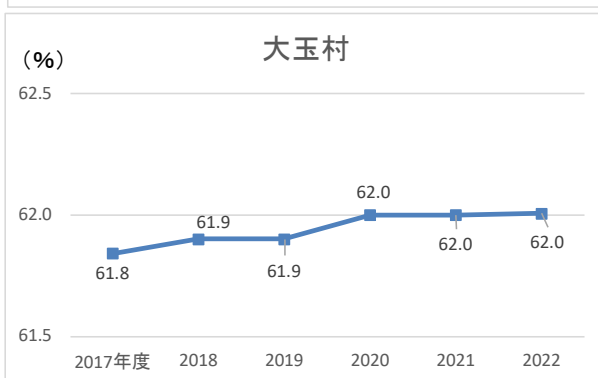
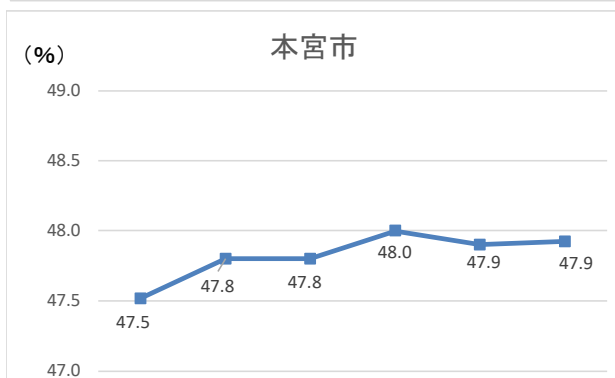
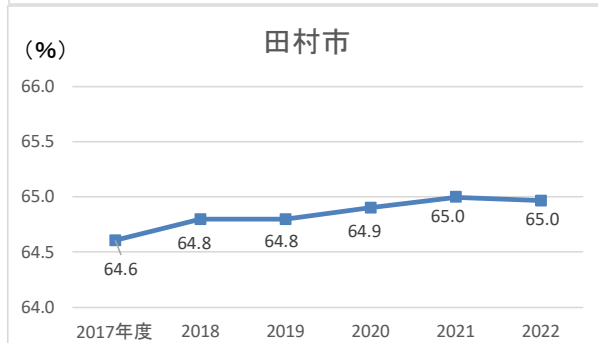
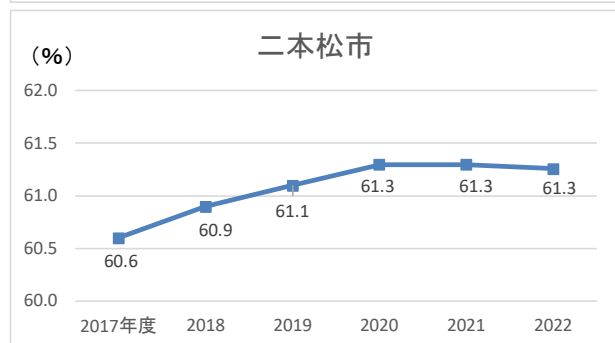
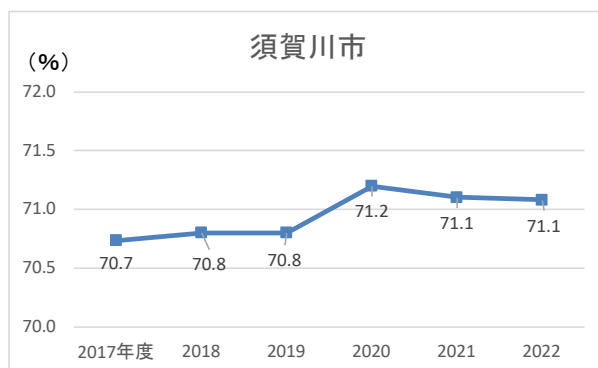
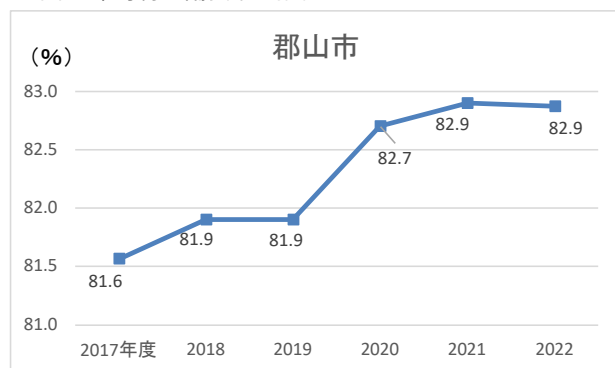


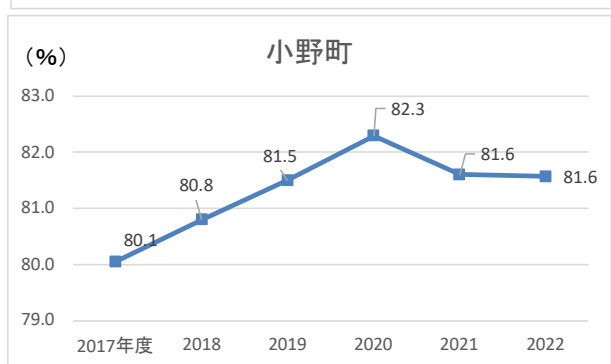
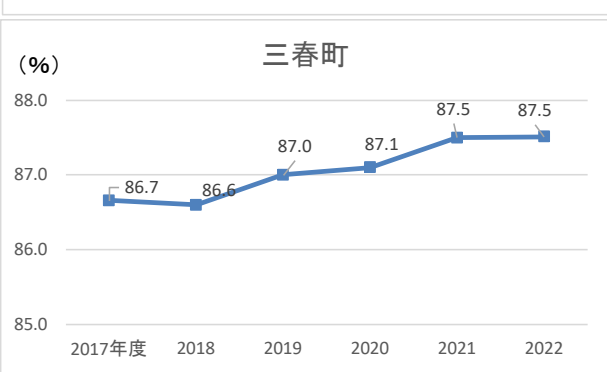
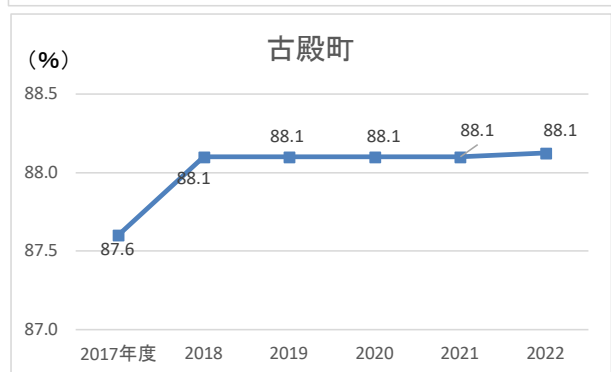
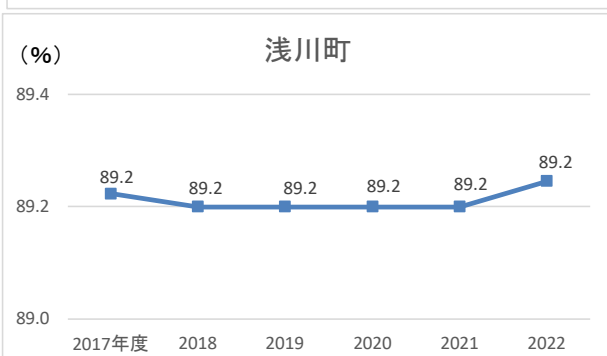
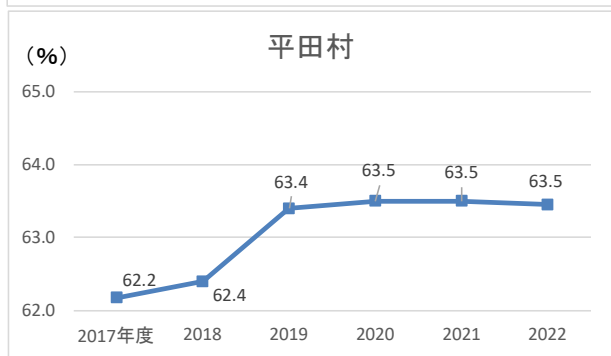
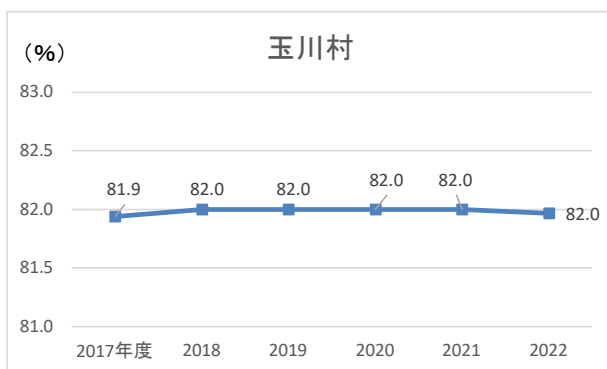
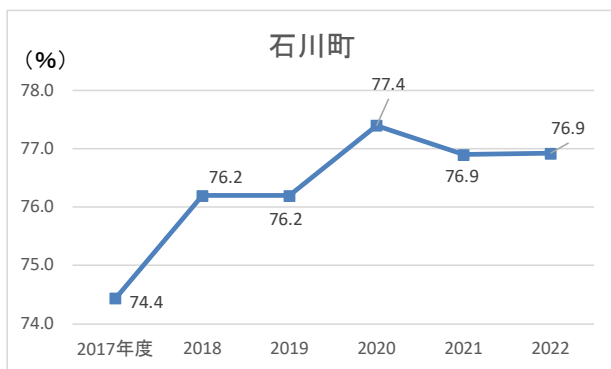
(5) 1人当たりの所得の推移





(6) 市町村道舗装率の推移





(7) 一人当たりの自動車保有台数の推移

